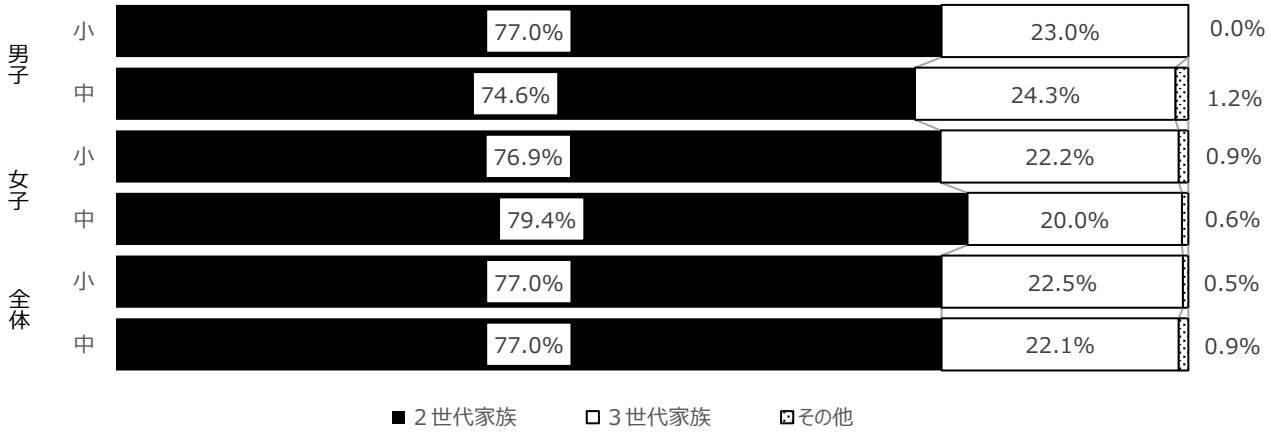
Ⅱ　調査結果・考察

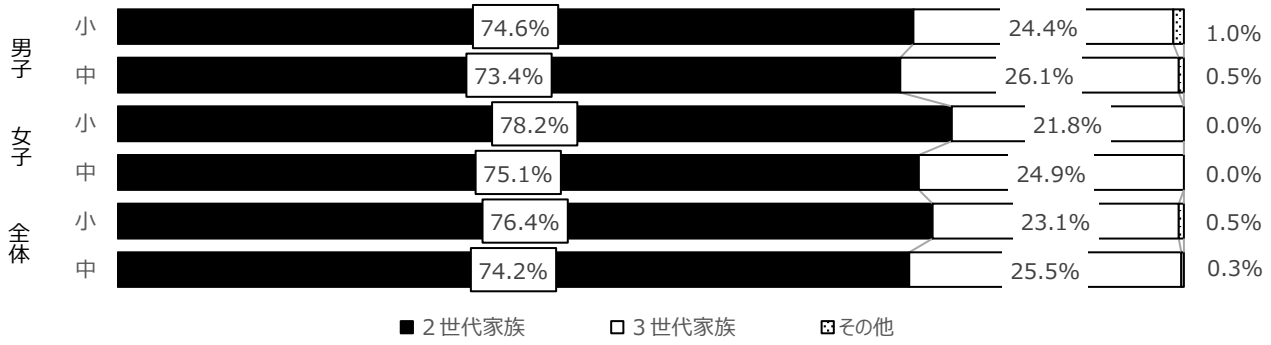
<1　家族構成>

問１　あなたの性別、家族を教えてください。

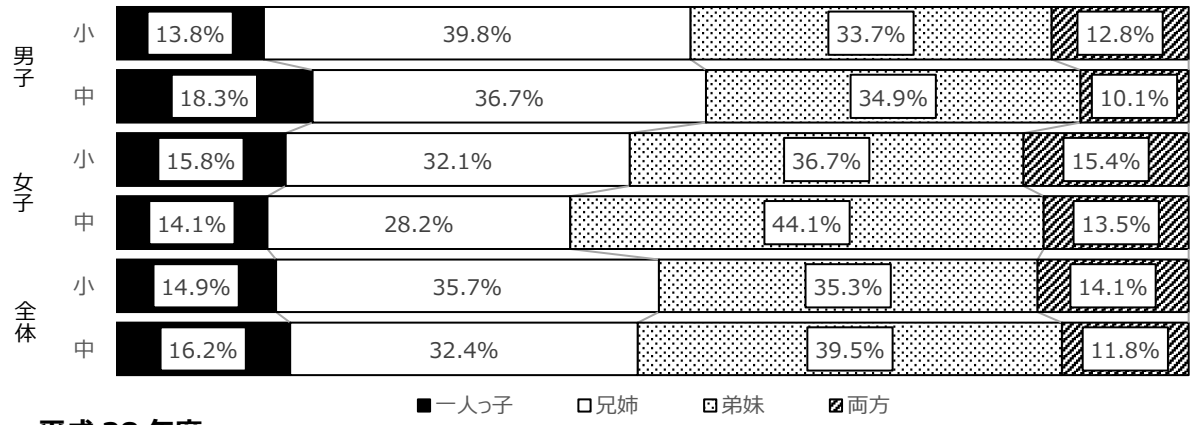
令和元年度



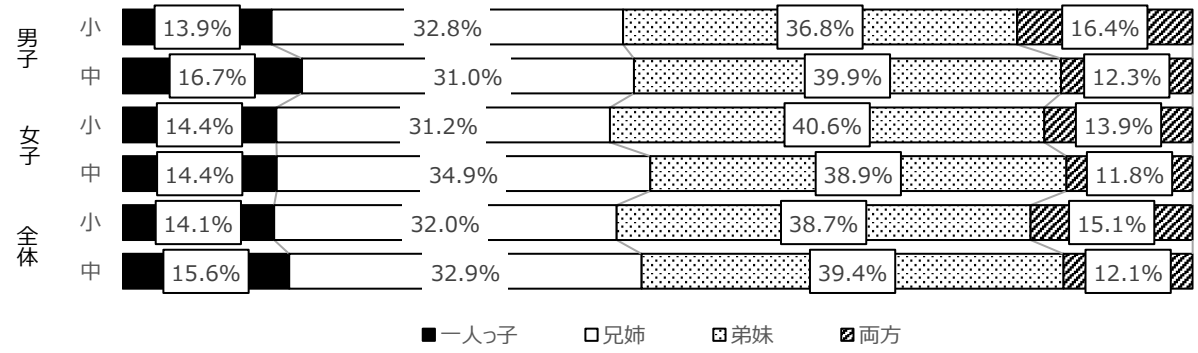
平成 28 年度



令和元年度



平成 28 年度



全体では、「２世代家族」は小学生 77.0%、中学生 77.0%を占めている。「３世代家族」は、小学生 22.5%、中学生 22.1%とどちらもあまり差がない。

前回調査との比較では、「２世代家族」は、どちらも 70%強であり、全体を見てみると、小学生が 0.6p、中学生が 2.8p、若干ではあるが２世代家族が増えている。

「３世代家族」では、全体で見ると、小学生が 0.6p、中学生が 3.4p、若干ではあるが、２世代家族が減っている。

兄弟姉妹のいる子は、小学生 85.1%、中学生 83.7%である。一人っ子は 15%程度である。

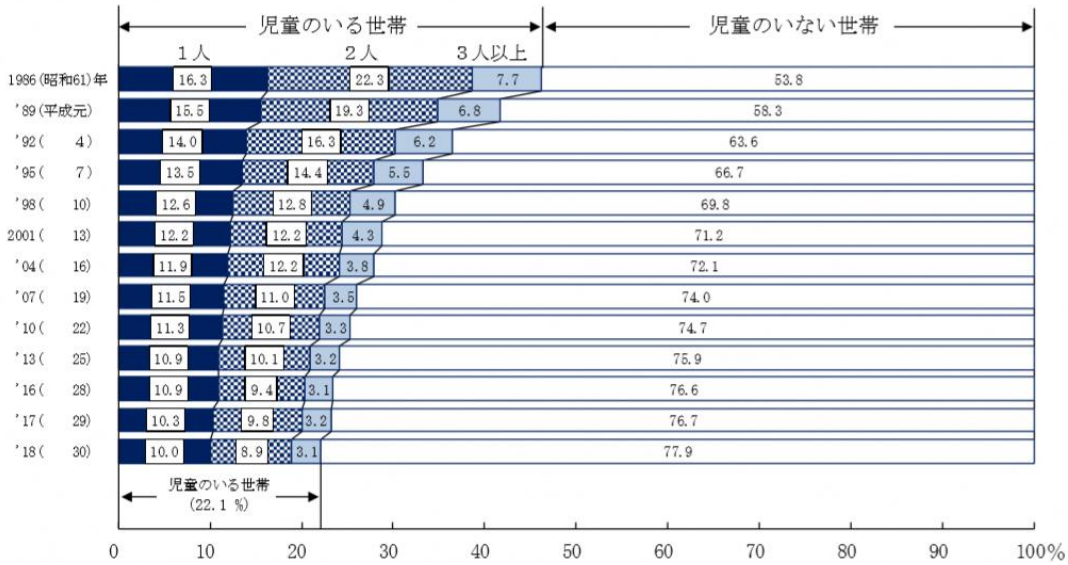
前回調査との比較では、小中学生ともにあまり差がない。（注：ｐはポイント以下同じ）

全体的に２世代家族と３世代家族の割合は３：１強である。また、兄弟姉妹がいるのは、85%近くである。

「三世代世帯の方が子どもと学校や進路のことを話している人が多い」という調査結果がありますが（第一生命保険株式会社『三世代で暮らしている人の地域・親子関係』2016 年）、三世代世帯は全国的にも、そして茨城県でも減少してきています。

また、18 歳未満の子どものいる世帯の割合が減少しており、子どものいる世帯の子供の数も減り続けています（下図参照）。平成元年と平成 30 年を比較すると、子供がいる世帯の割合が 41.6%から 22.1%に減少し、特に複数の子どもの居る世帯の割合が 26.1%から 12.0%に減少しています。

図：児童のいる世帯･いない世帯と児童数の推移



注）「児童」とは、18 歳未満の未婚者をいう（厚生労働省『平成 30 年　国民生活基礎調査の概況』より）

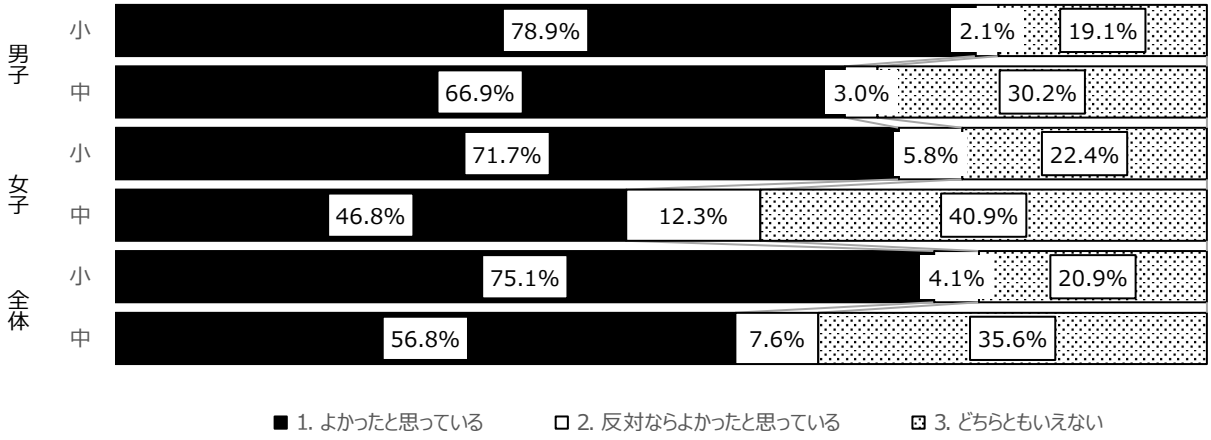
超高齢少子化社会を反映して、今は子供を育てている世帯は少数派なんだ。

社会全体が子育て中のお父さんお母さんをバックアップできるよう、日ごろの心遣いを忘れないようにしたいね。

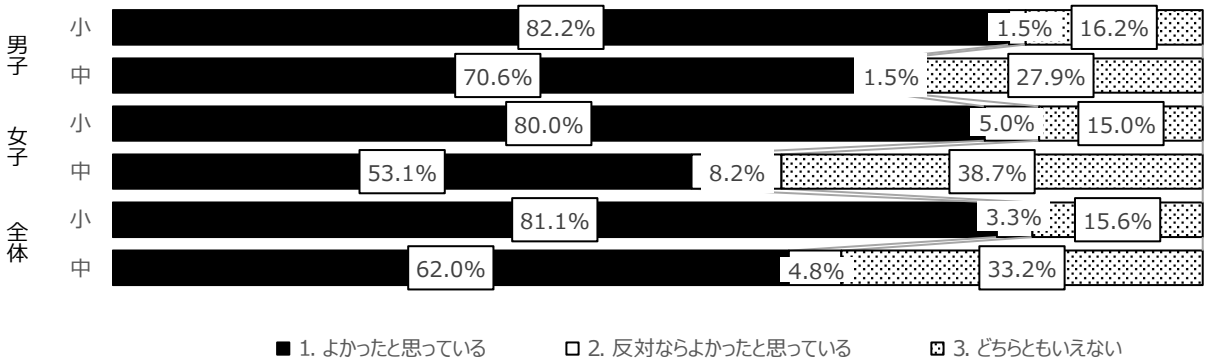
＜2　自分の性について＞

問２　あなたは、自分が男子または女子に生まれたことをどう思いますか。あてはまる番号を１つ選んで○をつけてください。

令和元年度



平成 28 年度



全体では、「よかったと思っている」が小学生で 75.1%、中学生では 56.8%を占めている。小学生から中学生になると、「よかったと思っている」が男子は 12.0p、女子は 24.9p、どちらも少なくなっている。「どちらともいえない」が全体で 14.7p 多くなっている。

前回調査との比較では、小学生は「よかったと思っている」が全体で 6.0p 減り、「どちらともいえない」が 5.3p 増えている。中学生は「よかったと思っている」が、全体で 5.2p 減り、特に女子では 6.3p 減っている。

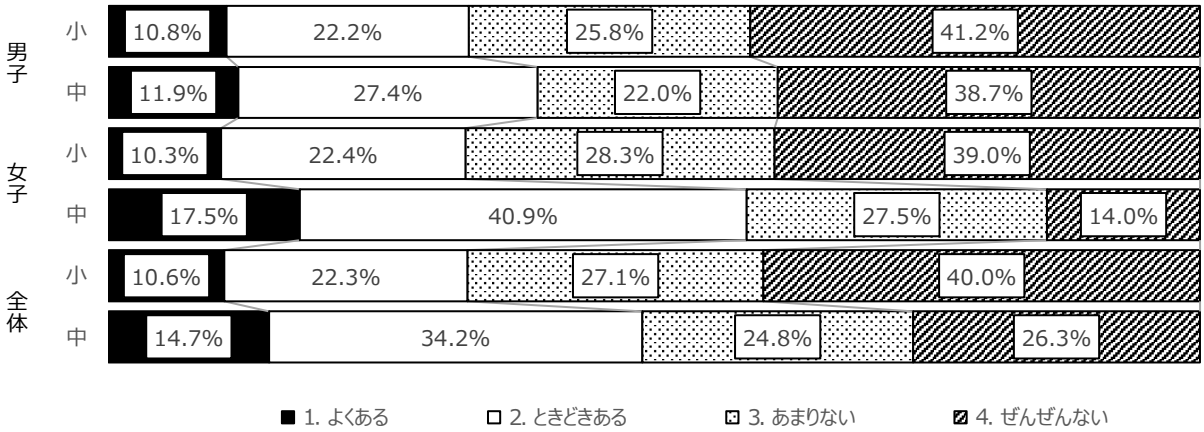
小学生から中学生にあがる過程で、自分の性別に生まれたことを「どちらともいえない」と感じる人が増加しているのは、男女の差へのこだわりが成長とともに薄くなる可能性を示している。さらに、中学生（特に女子）においては、前回調査よりも、「よかったと思っている」が大幅に減少していることから、男女差を意識する大きな変化があったようだ。

前回調査では先生から男女共同参画についてのお話があったそうなので、
そのことが、意識変化を促す教育効果につながったのかもしれないね。

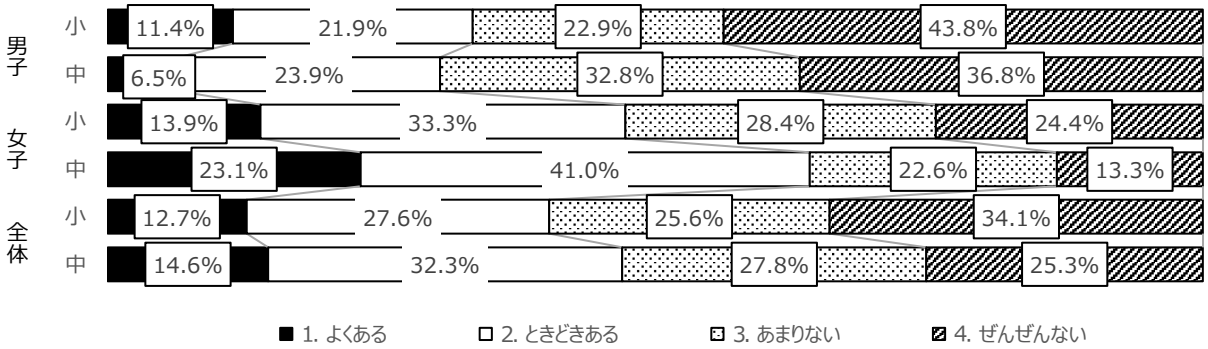
＜３　性別役割分担意識に対する大人の言動と影響＞

問３　あなたは、大人から「男らしくしなさい・男のくせに」や「女らしくしなさい・女のくせに」のように言われた（言われる）ことはありますか。あてはまる番号を１つ選んで○をつけてください。

令和元年度



平成28年度



全体では、小学生で「ぜんぜんない」が一番多く 40.0%、中学生では、特に女子において、「よくある」「ときどきある」を合わせて 58.4%と多いが、逆に男子では「ぜんぜんない」と「あまりない」を合わせて 60.7%と多くなっている。小学生から中学生になると、「ぜんぜんない」が全体で、40.0%から 26.3%へと 13.7p 少なくなっている。

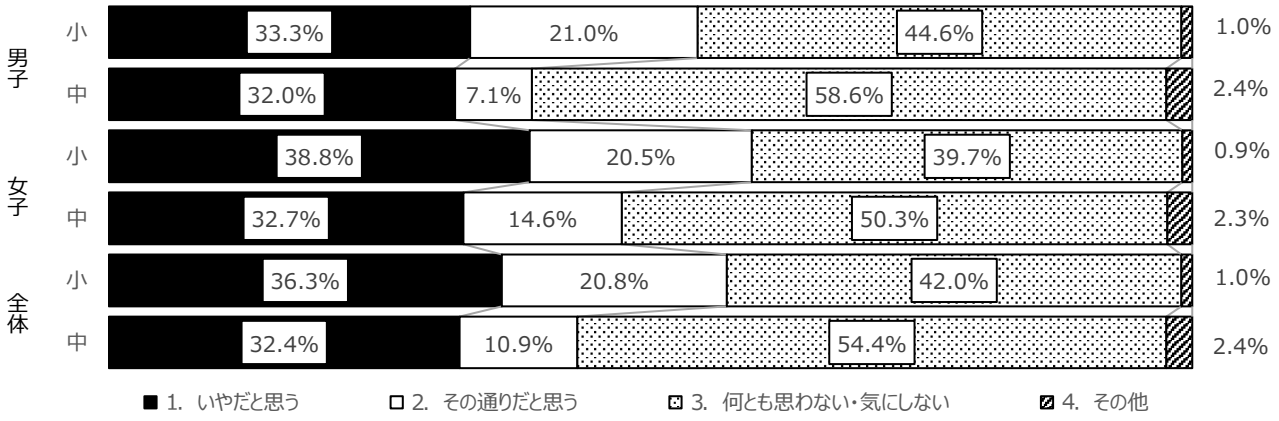
前回調査との比較では、小学生は全体で「ぜんぜんない」が 5.9p 増えている。中学生は、女子の「よくある」が 5.6p 減っているが、男子で 5.4p 増えている。一方、「あまりない」は男子で 10.8p 減っており、男女で異なる変化が見られた。また、小学生では「よくある」と「ときどきある」の合計が、全体で 7.4p 減っているが、中学生では 2.0p 増えている。

小学生においては、「男らしく・女らしく」といわれることは減少しているが、中学生男子でむしろ増加している。中学生の半数が「よくある」「ときどきある」と実感していると思われる。

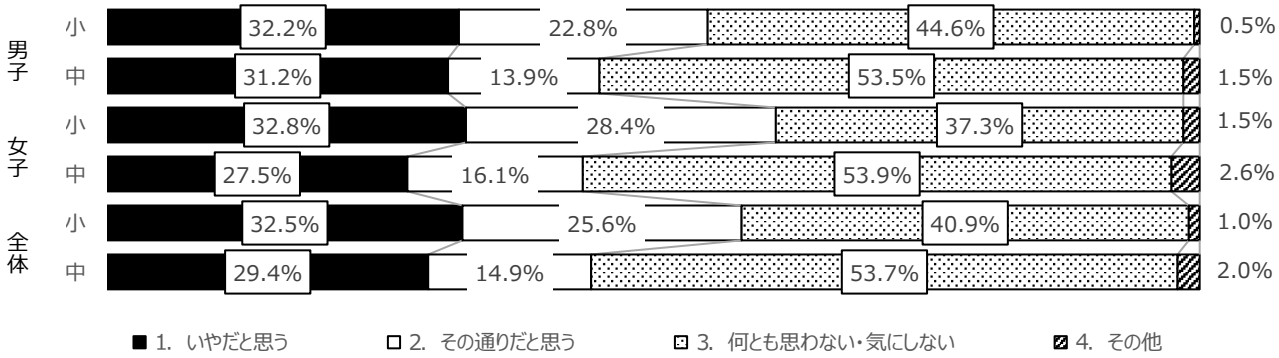
大人は日々の何気ない言動にますます注意を払わなければならないね。

問４　あなたは、大人から「男らしくしなさい・男のくせに」や「女らしくしなさい・女のくせに」のように言われたらどう思いますか。あてはまる番号を１つ選んで○をつけてください。

令和元年度



平成 28 年度



全体では、小中共に「何とも思わない・気にしない」が最も多く、小学生で 42.0%、中学生では 54.4%を占めている。小学生から中学生になると、「何とも思わない・気にしない」が全体で 12.4p 増えている。

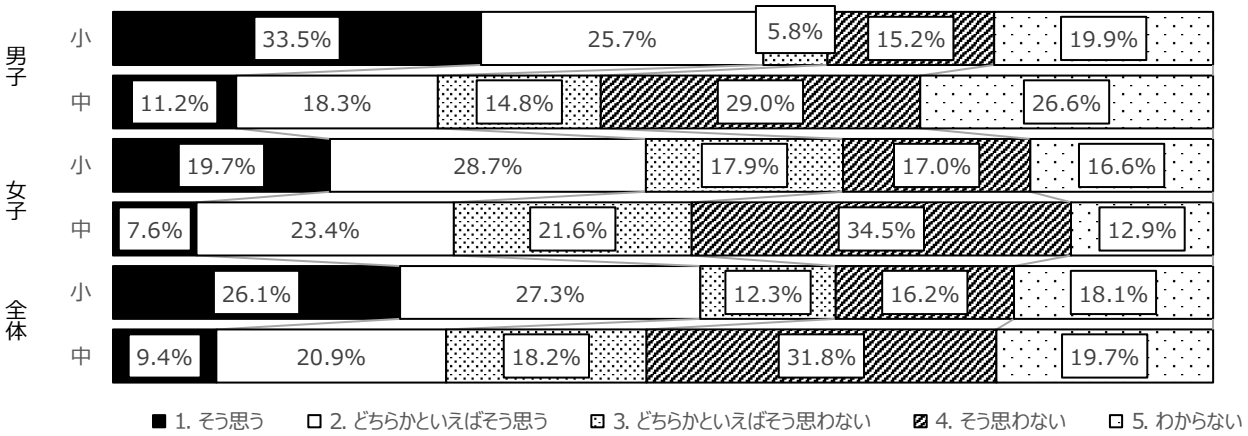
前回調査との比較では、小学生で「その通りだと思う」が全体で 4.8p 減っている。特に女子では「いやだと思う」が 6.0p 増えている。中学生では、女子の「いやだと思う」が 5.2p 増え、男子では「何とも思わない・気にしない」が 5.1p 増えている。

小学生においても、中学生においても「何とも思わない・気にしない」が一番多いが、前回調査との比較では、女子の「いやだと思う」が増加している。

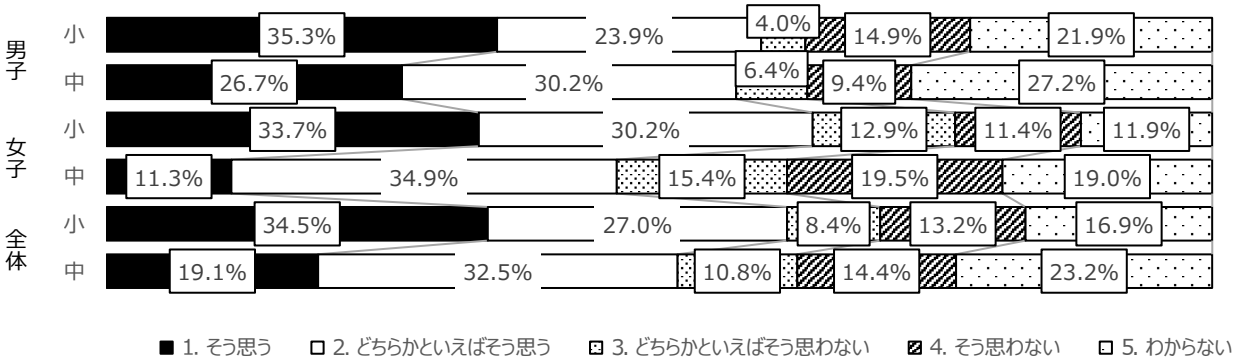
「いやだと思う」の増加の背景として社会的なジェンダーフリー意識の高まりがあるようだね。セクハラに声を上げる人々や性的マイノリティの人々の声が SNS やマスコミで取り上げられるのを目にするね。

問５　あなたは、男は男らしく、女は女らしくあったほうがいいと思いますか。あてはまる番号を１つ選んで○をつけてください。

令和元年度



平成28年度



全体では、小学生で「どちらかといえばそう思う」が 27.3%で一番多く、中学生は、「そう思わない」が 31.8%で一番多い。小学生から中学生になると、全体で「そう思う」が 16.7p 減り、特に男子では、22.3p 減っている。一方、女子では「そう思わない」が 17.5p 増えている。

前回調査との比較では、小学生は、全体で「そう思う」が 8.4p 減っている。特に女子の「そう思う」が 14.0p 減っている。中学生では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が全体で、51.6%から 30.3%へと 21.3p 減っている。男子では 27.4p、女子は 15.2p 減っている。

問３・４の結果を踏まえて問５を考察すると、大人から「男（女）らしくしなさい・男（女）のくせに」と言われることはあっても、子どもたちは「男（女）らしく」あった方がよいとは必ずしも思っていないことが分かった。前回調査との比較で、特に中学生では、そのような性別パーソナリティにとらわれない生徒が増加していることがよみ取れる。

＜４ 「男らしい」「女らしい」について＞

問６ あなたが考える「男らしい」とは？（あてはまると思うものすべてに○をつけてください。その他にある人は（ ）の中に書いてください。）

令和元年度

項目	小学生男子（197人）		中学生男子（169人）		小学生女子（224人）		中学生女子（171人）		小学生計（421人）		中学生計（340人）	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1．力が強い	128	65.0%	117	69.2%	138	61.6%	120	70.2%	266	63.2%	237	69.7%
2．体が大きい	75	38.1%	84	49.7%	62	27.7%	70	40.9%	137	32.5%	154	45.3%
3．声が大きい	89	45.2%	70	41.4%	89	39.7%	61	35.7%	178	42.3%	131	38.5%
4．元気がいい	156	79.2%	104	61.5%	158	70.5%	109	63.7%	314	74.6%	213	62.6%
5．心が強い	127	64.5%	98	58.0%	112	50.0%	87	50.9%	239	56.8%	185	54.4%
6．行動的	75	38.1%	58	34.3%	55	24.6%	64	37.4%	130	30.9%	122	35.9%
7．リーダーシップがある	87	44.2%	71	42.0%	81	36.2%	79	46.2%	168	39.9%	150	44.1%
8．積極的	65	33.0%	63	37.3%	69	30.8%	62	36.3%	134	31.8%	125	36.8%
9．冷静	56	28.4%	25	14.8%	33	14.7%	30	17.5%	89	21.1%	55	16.2%
10．正義感がある	95	48.2%	83	49.1%	85	37.9%	87	50.9%	180	42.8%	170	50.0%
11．責任感がある	81	41.1%	84	49.7%	62	27.7%	67	39.2%	143	34.0%	151	44.4%
12．頼りになる	105	53.3%	105	62.1%	101	45.1%	105	61.4%	206	48.9%	210	61.8%
13．勇気がある	159	80.7%	100	59.2%	157	70.1%	109	63.7%	316	75.1%	209	61.5%
14．かっこいい	87	44.2%	64	37.9%	100	44.6%	65	38.0%	187	44.4%	129	37.9%
15．明るい	98	49.7%	63	37.3%	96	42.9%	70	40.9%	194	46.1%	133	39.1%
16．面白い（楽しい）	80	40.6%	62	36.7%	122	54.5%	86	50.3%	202	48.0%	148	43.5%
17．かわいい	5	2.5%	6	3.6%	4	1.8%	4	2.3%	9	2.1%	10	2.9%
18．清潔	34	17.3%	25	14.8%	40	17.9%	29	17.0%	74	17.6%	54	15.9%
19．やさしい	82	41.6%	58	34.3%	78	34.8%	55	32.2%	160	38.0%	113	33.2%
20．おとなしい	15	7.6%	10	5.9%	9	4.0%	7	4.1%	24	5.7%	17	5.0%
21．口数が少ない(無口)	11	5.6%	4	2.4%	7	3.1%	4	2.3%	18	4.3%	8	2.4%
22．すなお	43	21.8%	25	14.8%	46	20.5%	33	19.3%	89	21.1%	58	17.1%
23．おしゃれ	12	6.1%	10	5.9%	12	5.4%	12	7.0%	24	5.7%	22	6.5%
24．料理ができる	46	23.4%	12	7.1%	36	16.1%	13	7.6%	82	19.5%	25	7.4%
25．その他	5	2.5%	9	5.3%	10	4.5%	6	3.5%	15	3.6%	15	4.4%

平成 28 年度

項目	小学生男子（201人）		中学生男子（203人）		小学生女子（195人）		中学生女子（197人）		小学生計（396人）		中学生計（400人）	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1．力が強い	139	69.2%	139	68.5%	132	67.7%	141	71.6%	271	68.4%	280	70.0%
2．体が大きい	63	31.3%	102	50.2%	46	23.6%	73	37.1%	109	27.5%	175	43.8%
3．声が大きい	87	43.3%	95	46.8%	74	37.9%	46	23.4%	161	40.7%	141	35.3%
4．元気がいい	147	73.1%	135	66.5%	147	75.4%	119	60.4%	294	74.2%	254	63.5%
5．心が強い	113	56.2%	132	65.0%	105	53.8%	105	53.3%	218	55.1%	237	59.3%
6．行動的	74	36.8%	81	39.9%	71	36.4%	78	39.6%	145	36.6%	159	39.8%
7．リーダーシップがある	94	46.8%	105	51.7%	76	39.0%	74	37.6%	170	42.9%	179	44.8%
8．積極的	67	33.3%	80	39.4%	63	32.3%	75	38.1%	130	32.8%	155	38.8%
9．冷静	39	19.4%	49	24.1%	25	12.8%	35	17.8%	64	16.2%	84	21.0%
10．正義感がある	81	40.3%	102	50.2%	79	40.5%	111	56.3%	160	40.4%	213	53.3%
11．責任感がある	84	41.8%	101	49.8%	64	32.8%	90	45.7%	148	37.4%	191	47.8%
12．頼りになる	115	57.2%	121	59.6%	108	55.4%	155	78.7%	223	56.3%	276	69.0%
13．勇気がある	142	70.6%	136	67.0%	140	71.8%	110	55.8%	282	71.2%	246	61.5%
14．かっこいい	74	36.8%	87	42.9%	88	45.1%	96	48.7%	162	40.9%	183	45.8%
15．明るい	106	52.7%	96	47.3%	97	49.7%	86	43.7%	203	51.3%	182	45.5%
16．面白い（楽しい）	92	45.8%	102	50.2%	120	61.5%	116	58.9%	212	53.5%	218	54.5%
17．かわいい	5	2.5%	16	7.9%	2	1.0%	8	4.1%	7	1.8%	24	6.0%
18．清潔	48	23.9%	45	22.2%	35	17.9%	24	12.2%	83	21.0%	69	17.3%
19．やさしい	84	41.8%	81	39.9%	74	37.9%	84	42.6%	158	39.9%	165	41.3%
20．おとなしい	10	5.0%	16	7.9%	8	4.1%	4	2.0%	18	4.5%	20	5.0%
21．口数が少ない(無口)	13	6.5%	14	6.9%	6	3.1%	6	3.0%	19	4.8%	20	5.0%
22．すなお	41	20.4%	45	22.2%	54	27.7%	44	22.3%	95	24.0%	89	22.3%
23．おしゃれ	9	4.5%	25	12.3%	6	3.1%	27	13.7%	15	3.8%	52	13.0%
24．料理ができる	36	17.5%	31	15.3%	27	13.8%	13	6.6%	63	15.9%	44	11.0%
25．その他	8	4.0%	13	6.4%	4	2.1%	15	7.6%	12	3.0%	28	7.0%

全体では、小学生は「勇気がある」「元気がいい」「力が強い」ことを「男らしい」と考えている人が多い。中学生は「力が強い」「元気がいい」「頼りになる」ことを「男らしい」と考えている人が多い。小学生から中学生になると、「男らしさ」のイメージのトップ項目は、「勇気がある」から「力が強い」に取って代わる。

前回調査との比較では小学生において、「頼りになる」が 7.4p 減っている。特に中学生の女子では「頼りになる」は 17.3p 減っている。

「男らしさ＝頼りになる」というステレオタイプなイメージは未だあるものの、特に中学生の女子においては前回調査と比較して大幅な減少が見られるなど固定観念に縛られない男女観の芽生えも感じられた。

問７　あなたが考える「女らしい」とは？（あてはまると思うものすべてに○をつけてください。その他にある人は（　　）の中に書いてください。）

令和元年度

項目	小学生男子（197人）		中学生男子（169人）		小学生女子（224人）		中学生女子（171人）		小学生計（421人）		中学生計（340人）	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1．力が強い	6	3.0%	2	1.2%	9	4.0%	4	2.3%	15	3.6%	6	1.8%
2．体が大きい	4	2.0%	2	1.2%	2	0.9%	3	1.8%	6	1.4%	5	1.5%
3．声が大きい	11	5.6%	8	4.7%	8	3.6%	6	3.5%	19	4.5%	14	4.1%
4．元気がいい	58	29.4%	56	33.1%	75	33.5%	53	31.0%	133	31.6%	109	32.1%
5．心が強い	33	16.8%	29	17.2%	59	26.3%	35	20.5%	92	21.9%	64	18.8%
6．行動的	50	25.4%	41	24.3%	63	28.1%	39	22.8%	113	26.8%	80	23.5%
7．リーダーシップがある	30	15.2%	40	23.7%	64	28.6%	54	31.6%	94	22.3%	94	27.6%
8．積極的	50	25.4%	37	21.9%	55	24.6%	47	27.5%	105	24.9%	84	24.7%
9．冷静	99	50.3%	73	43.2%	126	56.3%	76	44.4%	225	53.4%	149	43.8%
10．正義感がある	26	13.2%	32	18.9%	37	16.5%	33	19.3%	63	15.0%	65	19.1%
11．責任感がある	55	27.9%	51	30.2%	70	31.3%	63	36.8%	125	29.7%	114	33.5%
12．頼りになる	67	34.0%	55	32.5%	108	48.2%	94	55.0%	175	41.6%	149	43.8%
13．勇気がある	19	9.6%	12	7.1%	34	15.2%	17	9.9%	53	12.6%	29	8.5%
14．かっこいい	4	2.0%	3	1.8%	7	3.1%	9	5.3%	11	2.6%	12	3.5%
15．明るい	118	59.9%	86	50.9%	158	70.5%	106	62.0%	276	65.6%	192	56.5%
16．面白い（楽しい）	31	15.7%	35	20.7%	57	25.4%	38	22.2%	88	20.9%	73	21.5%
17．かわいい	86	43.7%	83	49.1%	131	58.5%	96	56.1%	217	51.5%	179	52.6%
18．清潔	98	49.7%	99	58.6%	128	57.1%	111	64.9%	226	53.7%	210	61.8%
19．やさしい	139	70.6%	114	67.5%	185	82.6%	138	80.7%	324	77.0%	252	74.1%
20．おとなしい	89	45.2%	58	34.3%	91	40.6%	74	43.3%	180	42.8%	132	38.8%
21．口数が少ない(無口)	27	13.7%	15	8.9%	30	13.4%	11	6.4%	57	13.5%	26	7.6%
22．すなお	71	36.0%	44	26.0%	88	39.3%	61	35.7%	159	37.8%	105	30.9%
23．おしゃれ	94	47.7%	80	47.3%	142	63.4%	108	63.2%	236	56.1%	188	55.3%
24．料理ができる	111	56.3%	65	38.5%	149	66.5%	103	60.2%	260	61.8%	168	49.4%
25．その他	4	2.0%	10	5.9%	8	3.6%	5	2.9%	12	2.9%	15	4.4%

平成 28 年度

項目	小学生男子（201人）		中学生男子（203人）		小学生女子（195人）		中学生女子（197人）		小学生計（396人）		中学生計（400人）	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1．力が強い	8	4.0%	18	8.9%	6	3.1%	2	1.0%	14	3.5%	20	5.0%
2．体が大きい	11	5.5%	15	7.4%	5	2.6%	2	1.0%	16	4.0%	17	4.3%
3．声が大きい	7	3.5%	20	9.9%	13	6.7%	1	0.5%	20	5.1%	21	5.3%
4．元気がいい	82	40.8%	84	41.4%	80	41.0%	75	38.0%	162	40.9%	159	39.8%
5．心が強い	41	20.4%	52	25.6%	43	22.1%	46	23.4%	84	21.2%	98	24.5%
6．行動的	67	33.3%	57	28.1%	57	29.2%	40	20.3%	124	31.3%	97	24.3%
7．リーダーシップがある	40	19.9%	46	22.7%	66	33.8%	48	24.4%	106	26.8%	94	23.5%
8．積極的	58	28.9%	45	22.2%	68	34.9%	37	18.8%	126	31.8%	82	20.5%
9．冷静	105	52.2%	84	41.4%	109	55.9%	79	40.1%	214	54.0%	163	40.8%
10．正義感がある	30	14.9%	34	16.7%	35	17.9%	24	12.2%	65	16.4%	58	14.5%
11．責任感がある	58	28.9%	66	32.5%	93	47.7%	53	26.9%	151	38.1%	119	29.8%
12．頼りになる	67	33.3%	66	32.5%	105	53.8%	75	38.1%	172	43.4%	141	35.3%
13．勇気がある	19	9.5%	27	13.3%	23	11.8%	15	7.6%	42	10.6%	42	10.5%
14．かっこいい	2	1.0%	13	6.4%	5	2.6%	7	3.6%	7	1.8%	20	5.0%
15．明るい	127	63.2%	121	59.6%	146	74.9%	131	66.5%	273	68.9%	252	63.0%
16．面白い（楽しい）	30	14.9%	58	28.6%	61	31.3%	65	33.0%	91	23.0%	123	30.3%
17．かわいい	75	37.3%	107	52.7%	115	59.0%	120	60.9%	190	48.0%	227	56.8%
18．清潔	103	51.2%	134	66.0%	138	70.8%	143	72.6%	241	60.9%	277	69.3%
19．やさしい	126	62.7%	149	73.4%	166	85.1%	166	84.3%	292	73.7%	315	78.8%
20．おとなしい	87	43.3%	76	37.4%	97	49.7%	78	39.6%	184	46.5%	154	38.5%
21．口数が少ない(無口)	28	13.9%	20	9.9%	21	10.8%	14	7.1%	49	12.4%	34	8.5%
22．すなお	63	31.3%	75	36.9%	89	45.6%	83	42.1%	152	38.4%	158	39.5%
23．おしゃれ	84	41.8%	116	57.1%	127	65.1%	134	68.0%	211	53.3%	250	62.5%
24．料理ができる	114	56.7%	123	60.6%	143	73.3%	131	66.5%	257	64.9%	254	63.5%
25．その他	4	2.0%	10	4.9%	7	3.6%	8	4.1%	11	2.8%	18	4.5%

全体では、小学生は「やさしい」「明るい」「料理ができる」ことを「女らしい」と考えている人が多い。また、女子については、「冷静」が 56.3%、「頼りになる」が 48.2%と、客観的に見た要素を含む項目も選んでいる。中学生は、「やさしい」「清潔」「明るい」ことを「女らしい」と考えている人が多い。女子では、「明るい」より「おしゃれ」を選んでいる人が多かった。

前回調査との比較では、小学生では順位に変化は見られず、中学生では「料理ができる」よりも「清潔」を選ぶ人が増えた。

「おしゃれ」については、小学生を前回調査と比較した場合、男子が、41.8%から 47.7%と 5.9p 増え、全体で見ても 2.8p 増えており、関心が高くなっていることが分かる。

特に女子が伝統的な「女らしい」をイメージしている。前回の集計からもこの傾向は変わらず、男女共に「やさしく」「明るく」「おしゃれ」で「料理上手」な女性が「女らしい」イメージであり、それゆえに問５で中学生が**そうした**「女らしさ」を求めなくなってきているようだ。

なるほどね。

＜５　家庭における性別役割分担意識＞

問８　あなたは、家の中でどのようなお手伝いをしますか。あてはまる番号全部に○をつけてください。何もしていない場合は○をつけないでください。

令和元年度

	男子		女子		全体	
	小	中	小	中	小	中
1. 食事のしたく	53.8%	41.4%	64.3%	49.7%	59.4%	45.6%
2. 食事のあとかたづけ	39.1%	48.5%	61.6%	59.6%	51.1%	54.1%
3. そうじ	40.6%	30.8%	42.0%	38.0%	41.3%	34.4%
4. 洗たく	20.3%	20.1%	28.6%	22.8%	24.7%	21.5%
5. おふろあらい	49.2%	47.3%	45.5%	40.4%	47.3%	43.8%
6. 買い物	19.8%	17.8%	27.7%	22.2%	24.0%	20.0%
7. ゴミ出し	40.1%	35.5%	37.1%	27.5%	38.5%	31.5%
8. きょうだいの世話	23.4%	17.8%	31.7%	23.4%	27.8%	20.6%
9. ペットの世話や花の水やり	25.4%	22.5%	39.7%	26.3%	33.0%	24.4%
10. 家の仕事の手伝い	28.9%	19.5%	38.4%	19.9%	34.0%	19.7%
11. その他	5.1%	2.4%	5.8%	1.2%	5.5%	1.8%
何もしていない	5.1%	9.5%	1.8%	2.9%	3.3%	6.2%
児童・生徒数	197人	169人	224人	171人	421人	340人

小学生男子　（一人平均　3.5件）

１位	食事のしたく	53.8%
２位	おふろあらい	49.2%
３位	そうじ	40.6%
４位	ゴミ出し	40.1%
５位	食事のあとかたづけ	39.1%

中学生男子　（一人平均　3.0件）

１位	食事のあとかたづけ	48.5%
２位	おふろあらい	47.3%
３位	食事のしたく	41.4%
４位	ゴミ出し	35.5%
５位	そうじ	30.8%

小学生女子　（一人平均　4.2件）

１位	食事のしたく	64.3%
２位	食事のあとかたづけ	61.6%
３位	おふろあらい	45.5%
４位	そうじ	42.0%
５位	ペットの世話や花の水やり	39.7%

中学生女子　（一人平均　3.3件）

１位	食事のあとかたづけ	59.6%
２位	食事のしたく	49.7%
３位	おふろあらい	40.4%
４位	そうじ	38.0%
５位	ゴミ出し	27.5%

平成 28 年度

	男子		女子		全体	
	小	中	小	中	小	中
1.食事のしたく	47.5%	36.5%	62.7%	55.9%	55.1%	46.0%
2.食事のあとかたづけ	46.5%	44.3%	59.5%	61.0%	52.9%	52.5%
3.そうじ	37.1%	23.2%	44.3%	38.5%	40.7%	30.7%
4.洗たく	15.8%	16.7%	25.9%	30.3%	20.8%	23.4%
5.おふろあらい	46.0%	42.9%	47.3%	35.9%	46.7%	39.4%
6.買い物	27.2%	15.3%	25.9%	24.6%	26.6%	19.8%
7.ゴミ出し	44.1%	32.0%	33.8%	23.1%	39.0%	27.6%
8.きょうだいの世話	28.2%	17.7%	36.0%	23.6%	32.0%	20.6%
9.ペットの世話や花の水やり	27.7%	25.6%	47.3%	31.3%	37.5%	28.4%
10.家の仕事の手伝い	30.7%	15.3%	40.8%	27.2%	35.7%	21.1%
11.その他	5.4%	1.0%	5.0%	1.5%	5.2%	1.3%
何もしていない	4.5%	7.4%	1.5%	5.6%	3.0%	6.5%
児童・生徒数	202人	203人	201人	195人	403人	398人

小学生男子　（一人平均　3.7件）

１位	食事のしたく	47.5%
２位	食事のあとかたづけ	46.5%
３位	おふろあらい	46.0%
４位	ゴミ出し	44.1%
５位	そうじ	37.1%

中学生男子　（一人平均　2.9件）

１位	食事のあとかたづけ	44.3%
２位	おふろあらい	42.9%
３位	食事のしたく	36.5%
４位	ゴミ出し	32.0%
５位	ペットの世話や花の水やり	25.6%

小学生女子　（一人平均　4.3件）

１位	食事のしたく	62.7%
２位	食事のあとかたづけ	59.5%
３位	おふろあらい	47.3%
４位	ペットの世話や花の水やり	47.3%
５位	そうじ	44.3%

中学生女子　（一人平均　3.7件）

１位	食事のあとかたづけ	61.0%
２位	食事のしたく	55.9%
３位	そうじ	38.5%
４位	おふろあらい	35.9%
５位	ペットの世話や花の水やり	31.3%

全体では、小学生は「食事のしたく」が一番多く、全体の半分以上が手伝っている。しかし、２位になると、男子は「おふろあらい」で、女子では「食事のあとかたづけ」とわかれる。中学生は「食事のあとかたづけ」が一番多く、全体の半分以上が手伝っている。２位には、男子は「おふろあらい」、女子は「食事のしたく」で小中共にあまり変わらない。「何もしていない」については、男女共に小学生より中学生の方が増えている。

前回調査との比較では、男女共に、「食事のしたく」が一番多く、次に「食事のあとかたづけ」「おふろあらい」となっており、全体でほぼ変化が見られない。

「きょうだいの世話」に注目してみると、小学生は 27.8%、中学生では 20.6%であり、中学生は小学生と比較して、少なくなっている。

子どもにも頼みやすい「おふろあらい」が上位に上がっている。また、お手伝いをしている平均件数も小学生男子 3.5 件、女子 4.2 件に対し、中学生男子 3.0 件、女子 3.3 件と減少している。中学生は、部活動や塾等で時間的余裕がないのかもしれない。

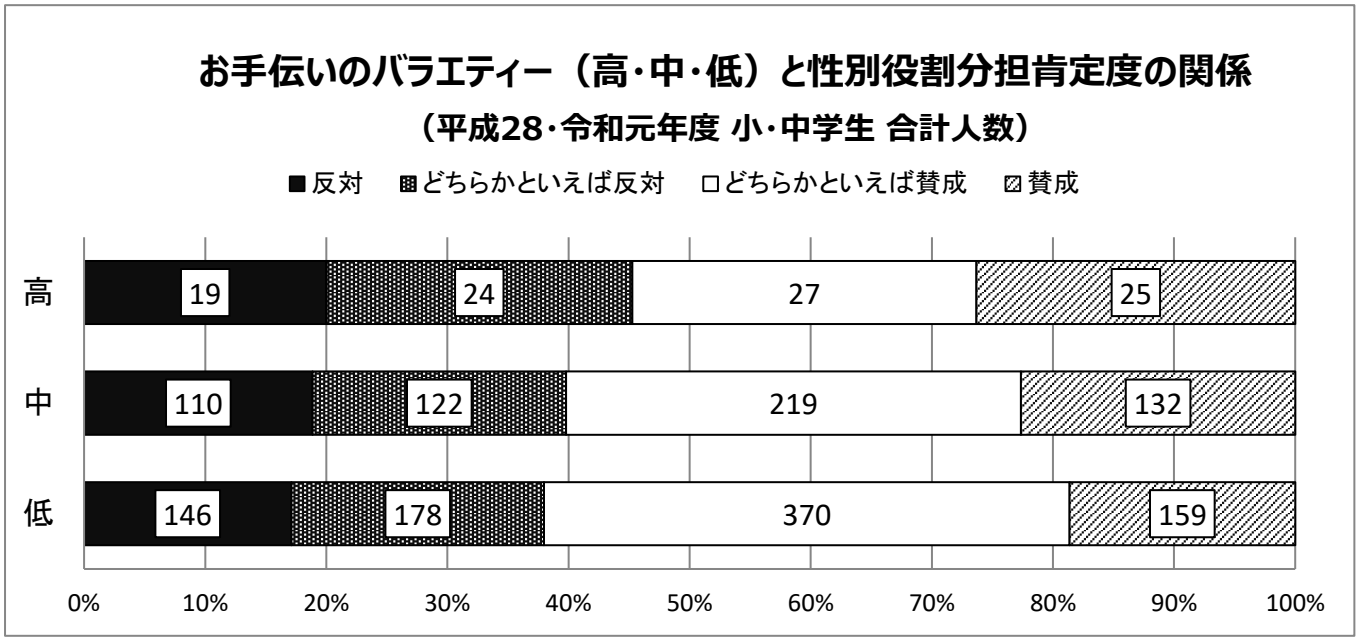
「きょうだいの世話」について中学生になると上の子と下の子の興味の対象や生活時間帯も変わるため下の子の面倒を見る機会が減るのかもしれないね。

行動を確認する項目（問８「あなたは、家の中でどのようなお手伝いをしますか。あてはまる番号全部に〇をつけてください。」）から、「お手伝いスコア」（選択項目の単純加算スコア）を作成し、性別役割分担意識（問 16 の回答）との関係を確認した。

お手伝いスコアを３段階（低：0～3、中：4～7、高：8～11）にグルーピングして性別役割分担の肯定度との関係をみたところ、10%水準で有意差が認められた。（N＝1531、有意確率＝0.0552）

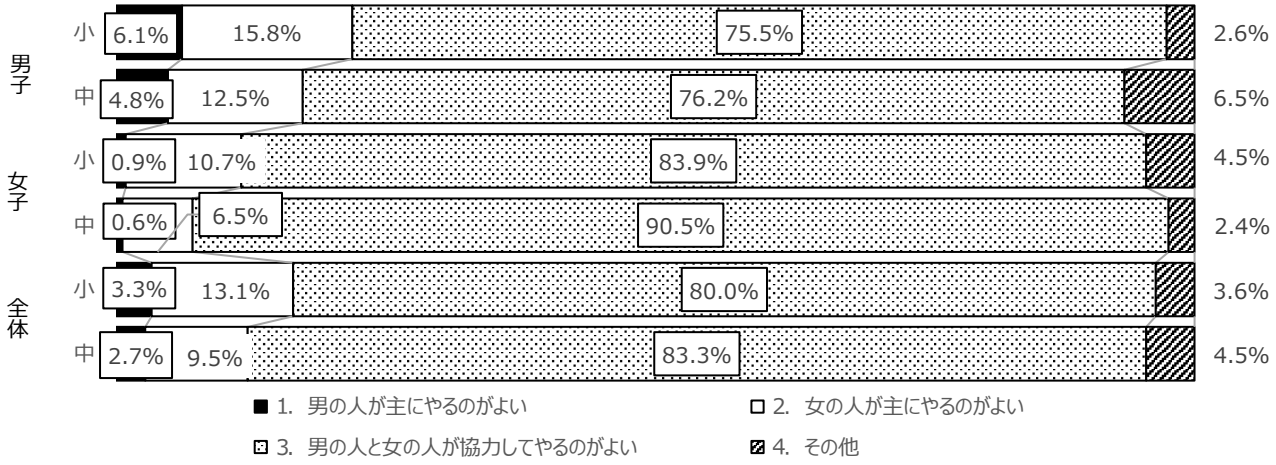
お手伝いがバラエティーに富む児童・生徒ほど性別役割分担意識が低いということが確認できた。

いろいろなお手伝いを経験することで、男女が協力して生活することの意義を自然と理解していくのかもしれないね。

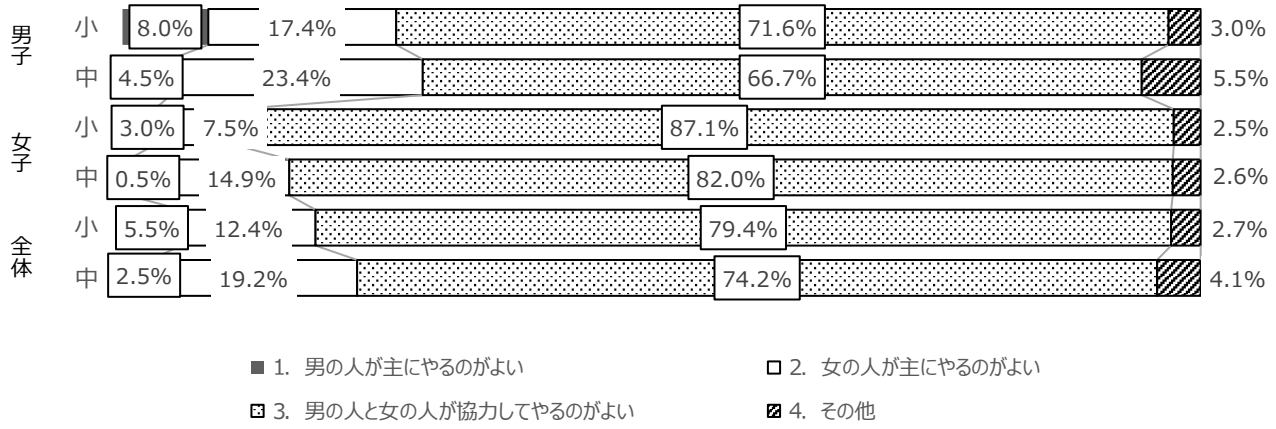


問９　あなたは家の中で、食事のしたくやそうじ、洗たくのような家事は、誰がするのが一番よいと思いますか。あてはまる番号を１つ選んで○をつけてください。

令和元年度



平成28年度



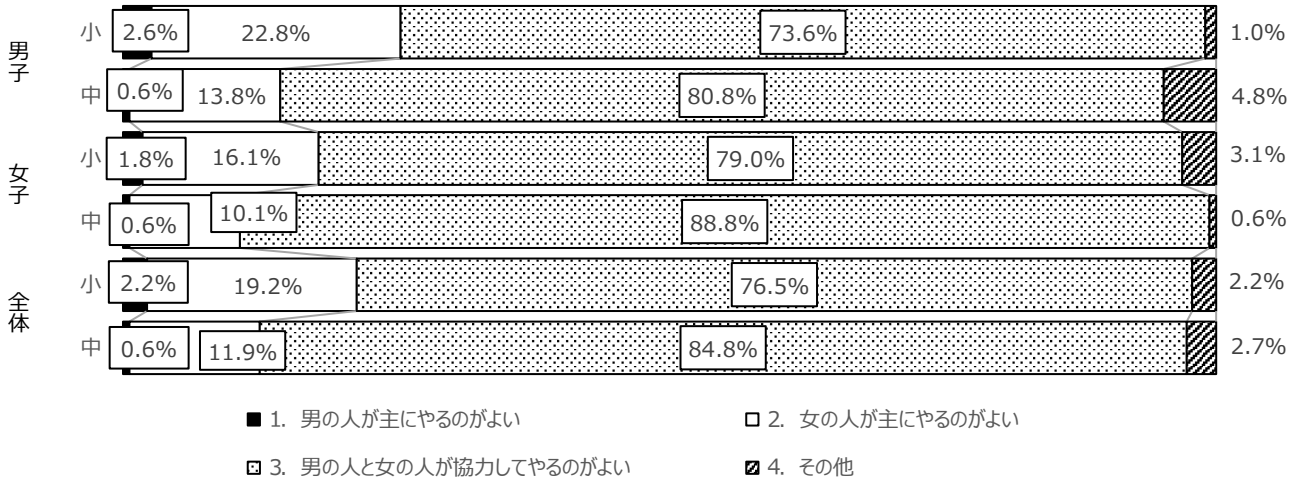
全体では、「男の人と女の人が協力してやるのがよい」が小学生で 80.0%、中学生では 83.3%を占め、特に中学生女子については９割強の子が協力を望んでいる。

前回調査との比較では、「男の人と女の人が協力してやるのがよい」が増えている。

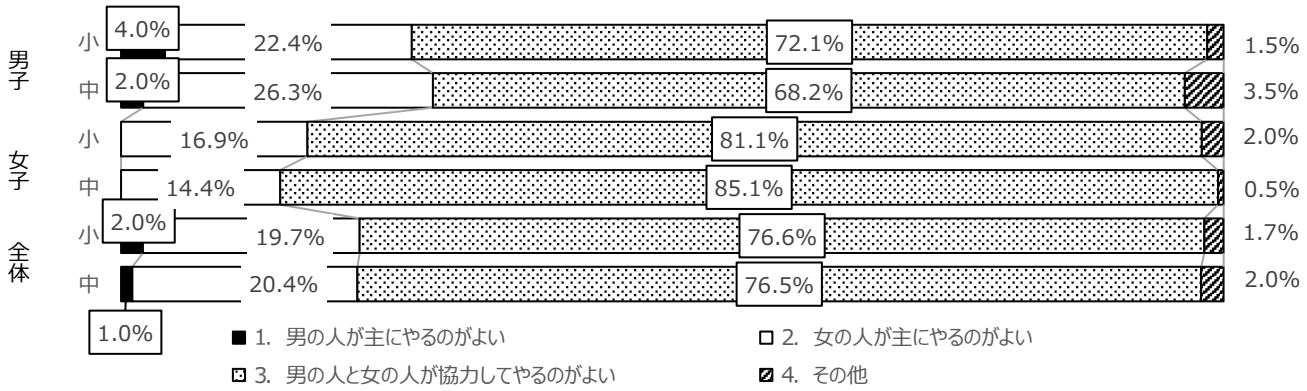
全体的に、小学生集計、中学生集計、前回の調査を比較してみても「男の人と女の人が協力してやるのがよい」という考えが 80%以上となっていることから、実際に各家庭においても、家事分担が定着してきていると言えよう。

問 10　あなたは、子どもが小さいと時の子育ては誰がするのが一番よいと思いますか。あてはまる番号を１つ選んで○をつけてください。

令和元年度



平成28年度



全体では、「男の人と女の人が協力してやるのがよい」が小学生で 76.5%、中学生では 84.8%を占めている。

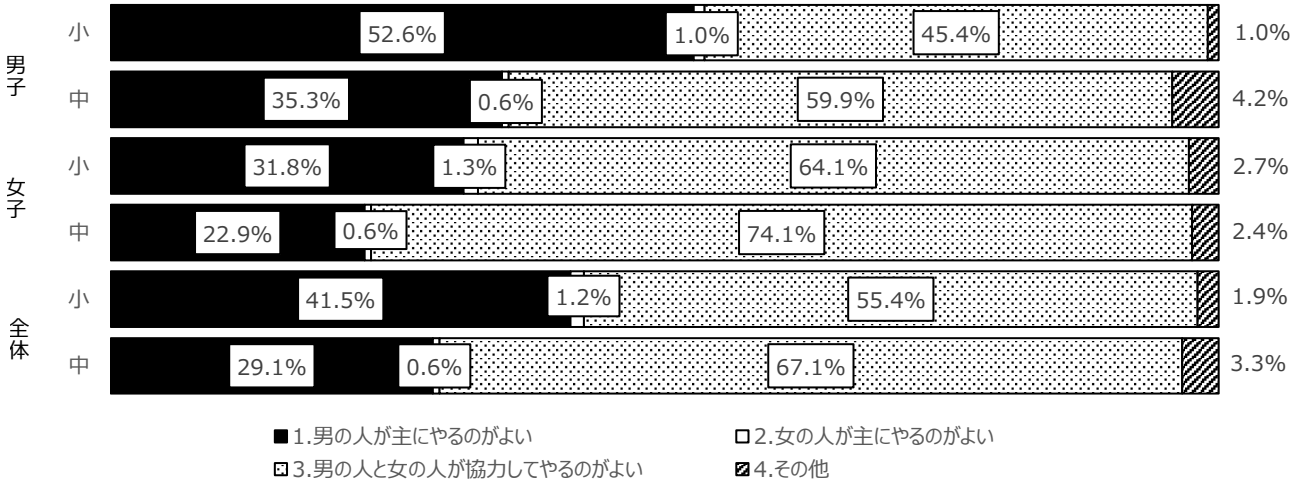
前回調査との比較では、「男の人と女の人が協力してやるのがよい」が小学生はほとんど変わらず、中学生では、8.3p 増えている。

各集計より圧倒的に「男の人と女の人が協力してやるのがよい」を選んでいることが分かる。特に中学生の 80%超えは、小学生時より 8.2p 増で、男子の積極的に関わっていこうとの考え方、女子の男の人にも関わってほしいとの願望の表れではないだろうか。

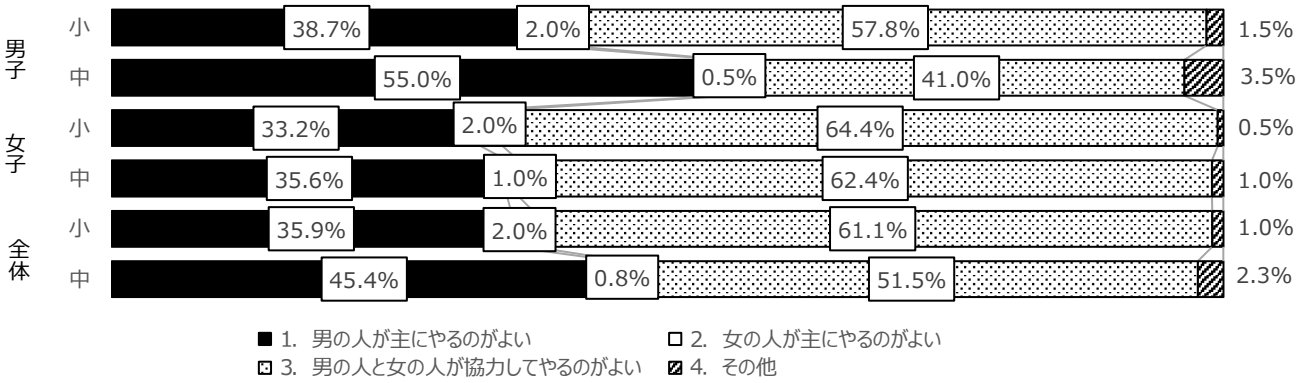
社会的にも「イクメン」などの造語もできたし、
男女協力の子育てが定着してきているね。

問 11　あなたは、収入（お金）を得る仕事を、誰がするのが一番よいと思いますか。あてはまる番号を１つ選んで○をつけてください。

令和元年度



平成 28 年度



全体では、「男の人と女の人が協力してやるのがよい」が小学生で 55.4%、中学生では 67.1%を占めている。小学生男子は「男の人が主にやるのがいい」52.6%と半数以上を占めるのに対し、女子は「男の人と女の人が協力してやるのがよい」が 64.1%と一番多い。中学生は「男の人と女の人が協力してやるのがよい」が男女共に一番多く、女子は 74.1%と男子の 59.9%に比較して圧倒的に高いポイントを示している。

前回調査との比較では、今回の中学生が小学生の時と比較すると、「男の人と女の人が協力してやるのがよい」では女子の回答が前回と比較して 9.7p 増えている。また、前回調査の中学生男子と今回の中学生男子は 18.9p、同様に中学生女子も 11.7p 増えており、統計的にも有意な差であった。

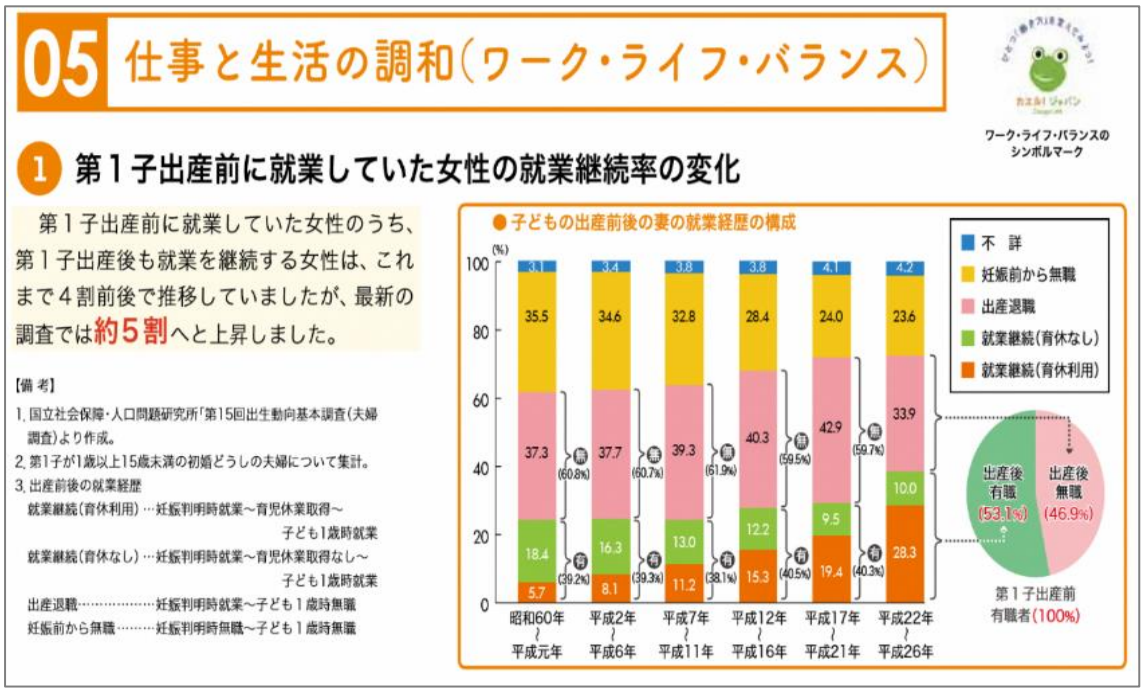
中学生の今回の集計と、前回の小学生の集計結果を比較してみると、年齢や時代の変化（資料参照）に従い、女子の社会進出に対する積極的な姿勢やそれを受けとめる男子の姿勢が伺える。それゆえ、問９、10 の結果は必然的な傾向で、女性が外へ出やすい環境づくりを女子は望んでいるといえよう。一方「男の人が主にやるのがよい」と小学生男子 52.6%、中学生男子 35.3%が回答している。

小学生が好む TV アニメに出てくる「昭和的なイメージの家庭」の影響を男子の方が受けやすいのかな。

３年間で人の意識がそれほど大きく変わることは考えにくいので、現中学２年生の意識の顕著な変化には、前回報告書を各学校で教育に活用していただいた効果や、本アンケートに参加したことによる男女共同参画意識の芽生えなどが考えられる。

ただし、景気動向などにより女性の就業継続率が増加し、子どもが幼少時より母親が働く家庭が急激に増えている（資料参照）。そうした家庭環境の変化が回答に影響している可能性は否定できない。

資料　内閣府・男女共同参画推進連携会議パンフレット
「ひとりひとりが幸せな社会のために　～令和元年版データ～」より転載



＜6　将来の職業＞

問 12　あなたは将来どのような仕事につきたいと思いますか。つきたいと思う仕事を次の（　　）の中に３つ以内で書いてください。

令和元年度

	小学生男子		中学生男子		小学生女子		中学生女子	
1	スポーツ選手（野球、サッカー等）	58人	スポーツ選手（野球、サッカー等）	23人	ペット屋さん、動物の飼育、トリマー、魚の飼育、馬の調教師	29人	保育園、幼稚園の先生	39人
		29.4%		13.6%		12.9%		22.8%
2	会社員、銀行員、製造業	30人	建設業、大工などの建物、道路、橋などを作る人	18人	看護師・助産師など病院で働く人	28人	看護師・助産師など病院で働く人	38人
		15.2%		10.7%		12.5%		12.9%
3	栄養士、調理師、コックなど料理を作る人	17人	トレーナー、インストラクター等スポーツ関係	17人	保育園、幼稚園の先生	26人	美容師、理容師、ネイル、メイク等	22人
		8.6%		10.1%		11.6%		22.2%
4	学者、博士、研究者、科学者/建設業、大工などの建物、道路、橋、などを作る人/ゲームクリエイター/自動車、機械などのエンジニア/社長、経営者	各13人	会社員、銀行員、製造業	16人	マンガ家、イラストレーター、アニメプログラマー	19人	学校の先生	20人
		6.6%		9.5%		8.5%		12.9%
5	医師/警察官、刑事	各11人	学校の先生/自動車、機械などのエンジニア	各13人	医師/学校の先生/パティシエ、パン職人	各17人	ペット屋さん、動物の飼育	15人
		5.6%		7.7%		7.6%		11.7%
	わからない・まだ考えていない	6人	わからない・まだ考えていない	1人	わからない・まだ考えていない	1人	わからない・まだ考えていない	0人
		3.0%		0.6%		0.4%		0%
	児童生徒数	197		169		224		171

＜男子に５人以上あって女子にないもの＞

■小学生　2

・社長、経営者

・消防士、救急隊、レスキュー隊

□中学生　2

・建設業、大工などの建物、道路、橋などをつくる人

・自動車、機械などのエンジニア

＜女子に５人以上あって男子にないもの＞

■小学生　6

・保育園、幼稚園の先生

・パティシエ、パン職人

・花屋さん

・ファッションデザイナー等

・モデル

・作曲家、演奏家

□中学生　3

・パティシエ

・ファッションデザイナー等

・デザイナー

※詳細は「Ⅲ資料」小学生ｐ53、中学生ｐ62 を参照

平成 28 年度

	小学生男子		中学生男子		小学生女子		中学生女子	
1	スポーツ選手（野球、サッカー等）	72人 35.8%	スポーツ選手（野球、サッカー等）	44人 21.7%	看護師・助産師など病院で働く人	40人 19.8%	保育園、幼稚園の先生	57人 29.2%
2	建設業や大工等の建物、道路、橋などをつくる人	32人 15.9%	トレーナー、インストラクター等スポーツ関係	27人 13.3%	保育園、幼稚園の先生	38人 18.8%	看護師・助産師など病院で働く人	47人 24.1%
3	マンガ家、イラストレーター、アニメプログラマー	16人 8.0%	建設業や大工等の建物、道路、橋などをつくる人	25人 12.3%	学校の先生	27人 13.4%	学校の先生	23人 11.8%
4	会社員、銀行員	16人 8.0%	自動車、機械などのエンジニア	21人 10.3%	食べ物屋さん（ケーキ屋・パン屋さんなど）	27人 13.4%	歌手、俳優、タレントなどの芸能人、声優等	23人 11.8%
5	学者、博士、研究者、発明家	15人 7.5%	ゲームクリエイター、ゲームプログラマー、ゲームデザイナー	19人 9.4%	ペット屋さん,動物の飼育	25人 12.4%	作家、小説家	20人 10.3%
	わからない・まだ考えていない	20人 10.0%	わからない・まだ考えていない	34人 16.7%	わからない・まだ考えていない	12人 5.9%	わからない・まだ考えていない	17人 8.7%
児童生徒数		201		203		202		195

＜男子にあって女子にないもの＞

■小学生　8

・ゲームクリエイター等

・政治家

・ユーチューバー

・自衛官

・自動車、機械などのエンジニア

・パイロット

・自動車、電車の運転士

・カメラマン

□中学生　3

・消防士、救急隊、レスキュー隊

・宇宙飛行士

・自動車、電車の運転士

＜女子にあって男子にないもの＞

■小学生　9

・美容師、ネイル、メイク

・花屋さん

・図書館司書

・インテリアコーディネーター等

・フラワーデザイナー

・デザイナー

・モデル

・作曲家、演奏家

・通訳、翻訳家

□中学生　16

・美容師、ネイル、メイク

・ファッションデザイナー等

・デザイナー

・編集者

・ダンサー

・フライトアテンダント

・モデル

・政治家

・マンガ家等

・ブライダル関係等

・画家などの芸術家

・獣医

・通訳、翻訳家

・インテリアコーディネーター等

・パイロット

・花屋さん

男子は小学生も中学生も１位は「スポーツ選手」、女子は小学生が「ペット屋さん」で中学生は「保育園、幼稚園の先生」となっていた。

前回の調査でも男子は小学生も中学生も１位は同じく「スポーツ選手」だったが、女子の前回１位は小学生が「看護師・助産師」で中学生は「保育園、幼稚園の先生」であった。中学生の１位は変わらなかったが、小学生女子は「ペット関係の仕事」が１位となり前回の５位から上位になった。「わからない・まだ考えていない」と答えた人は、前回は 12 人～34 人いたが、今回は０～６人と減っている。

仕事については、スポーツ選手という憧れの職業から会社員という現実的な職業まで幅広く選択されている。女子は「保育園の先生」や「看護師」など他人の世話をする仕事が多くあった。日常的に目にするそうした職業には、女性が多いせいなのかもしれない。「わからない・まだ考えていない」と回答した人が減少した。

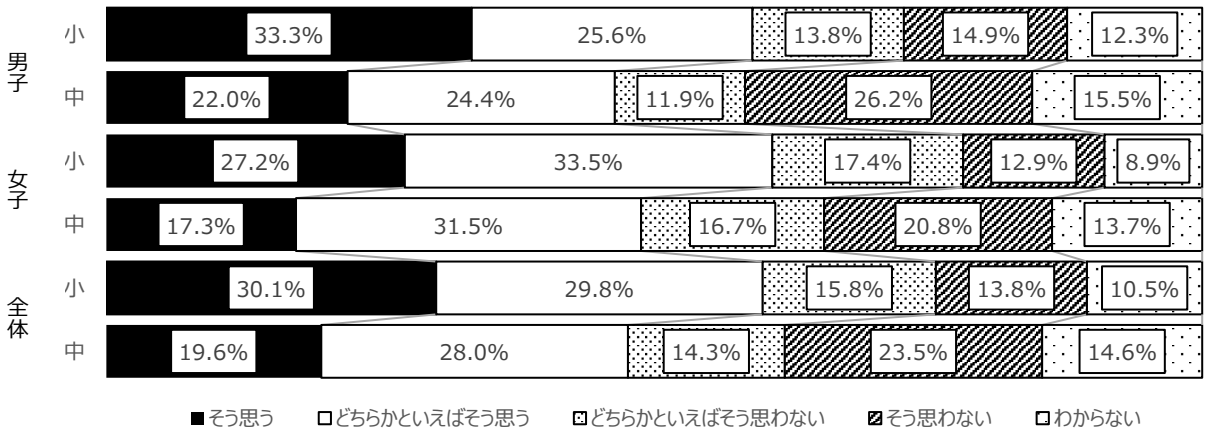
将来や職業を考える授業があるのかな。

<7 学校における性差意識>

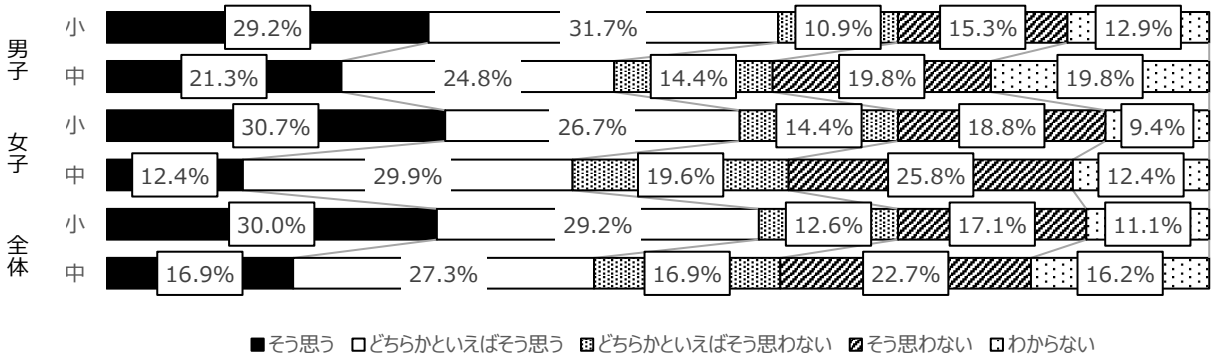
問 13 次のことについてどう思いますか。あてはまる番号を１つ選んで○をつけてください。

（１）学校の係の中で男子向き･女子向きの係がある

令和元年度



平成 28 年度



全体では、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた「思う」計〈以下同じ〉が小学生で 59.9%と多いが、中学生では 47.6%と 12.3p 少なく、これは前回の調査と同じ傾向であった。

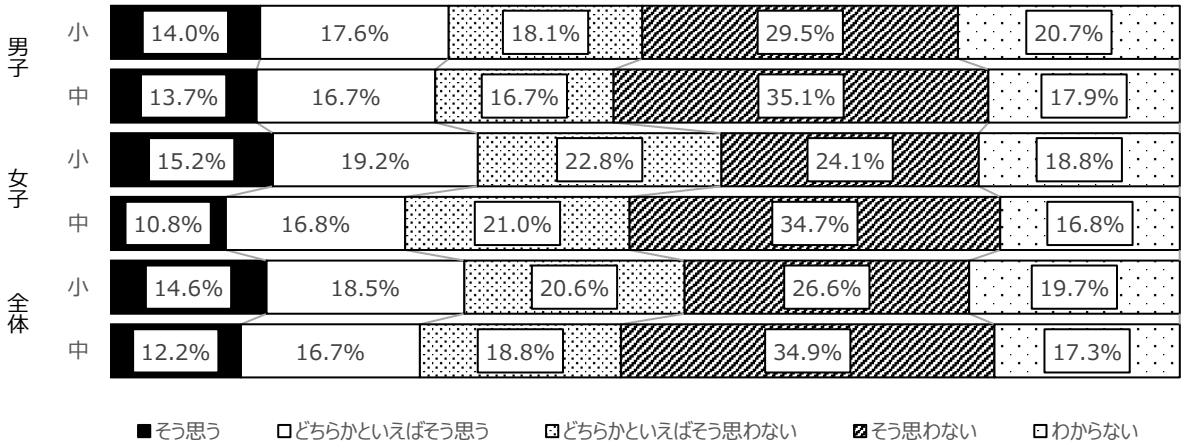
男女別でみると、小学生も中学生も女子の方が男子より「思う」計が多く、女子（小学生 60.7%、中学生 48.8%）、男子（小学生 58.9%、中学生 46.4%）となっている。

学校で、性別によって、やりやすい係、やりにくい係があるようだ。

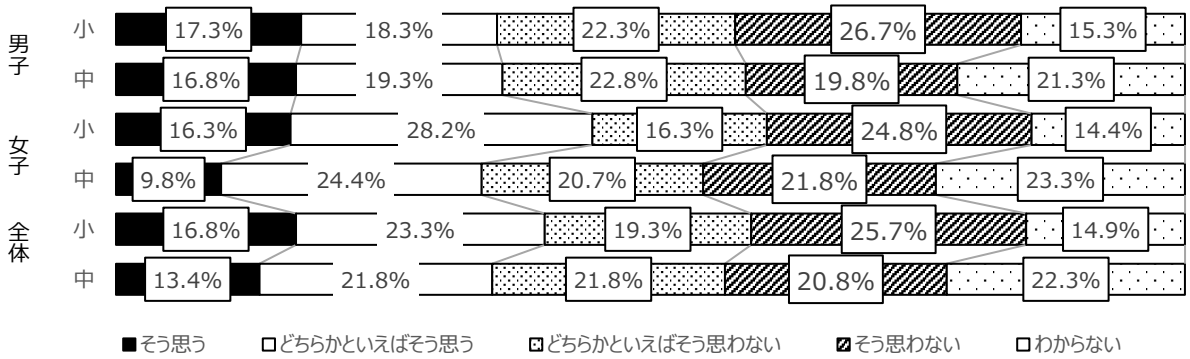
もう少しそうした垣根が低くなるといいね。

（２）なにかにつけて男子が先、女子が後にされている

令和元年度



平成 28 年度



全体では、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた「思わない」計〈以下同じ〉が小学生で 47.2%、中学生では 53.7%と 6.5p 多くなっている。「思う」計が小学生で 33.1%、中学生では 28.9%と 4.2p 少なくなっている。

男女別でみると、「思わない」計が小学生で男子 47.6%、女子 46.9%と男子が 0.7p 多く、中学生では男子 51.8%、女子が 55.7%と女子が 3.9p 多くなっている。特に女子で小学生と中学生の意識の違いが出ている。

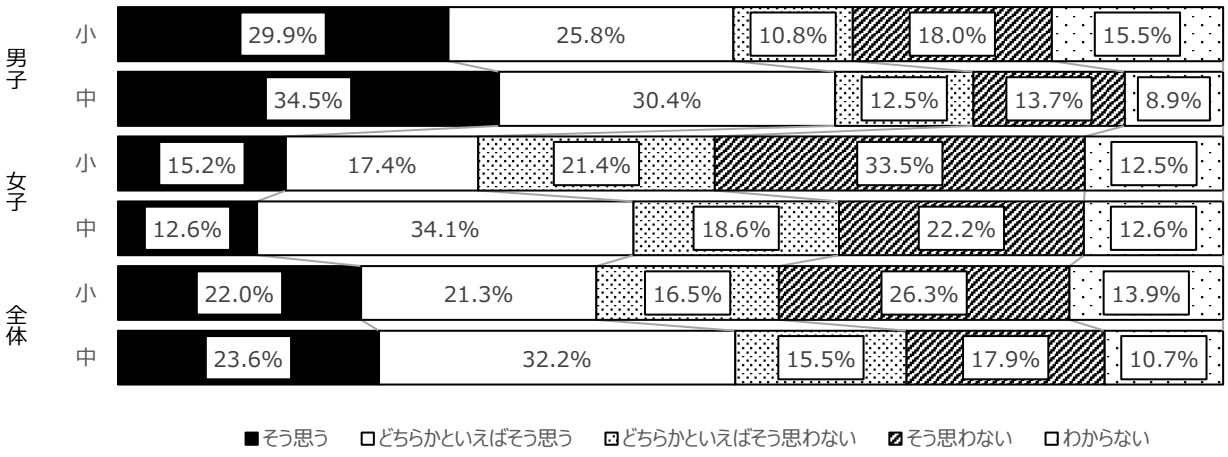
前回調査との比較では、「思わない」計が中学生で 11.1p 増えている。

男女別で見ると、小学生男子が「思わない」計が 49.0p から 47.6p に減ったが、他は前回よりも 5.8p～13.2p 増えている。

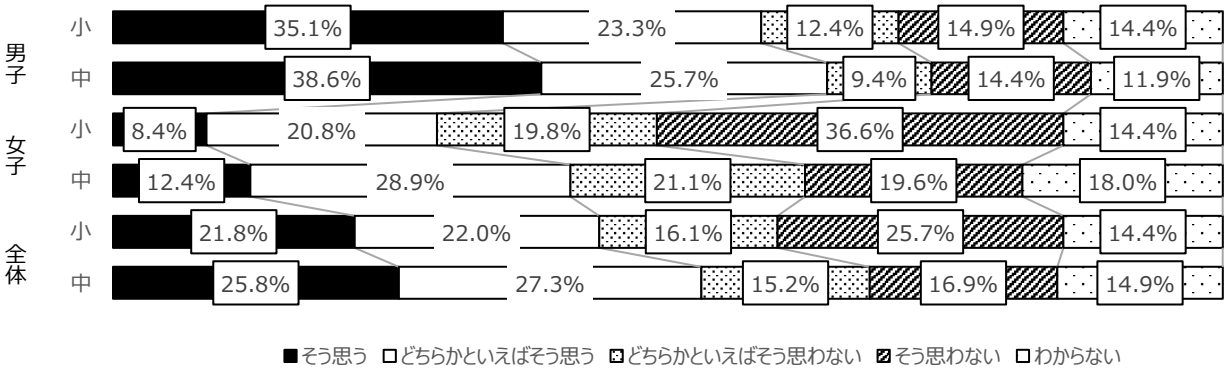
小学生よりも中学生の方が男女とも「思わない」計が多い。年齢が上がるほどその傾向が強まっている。

（３）いろいろな場面で女子の方が甘やかされている

令和元年度



平成 28 年度



全体では、「思う」計が小学生で 43.3%、中学生では 55.8%で 12.5p 多く過半数を超えている。

男女別でみると、「思う」計は小学生で男子 55.7%、女子 32.6%、中学生では男子 64.9%、女子 46.7%とどちらも男子の方が多く、小学生よりも中学生の方が男女とも多くなっている。

前回調査との比較では、全体として小学生は「思う」計が 0.5p 減り、「思わない」計が 1.0p 増えている。中学生は「思う」計が 2.7p 増え、「思わない」計が 1.3p 増えている。

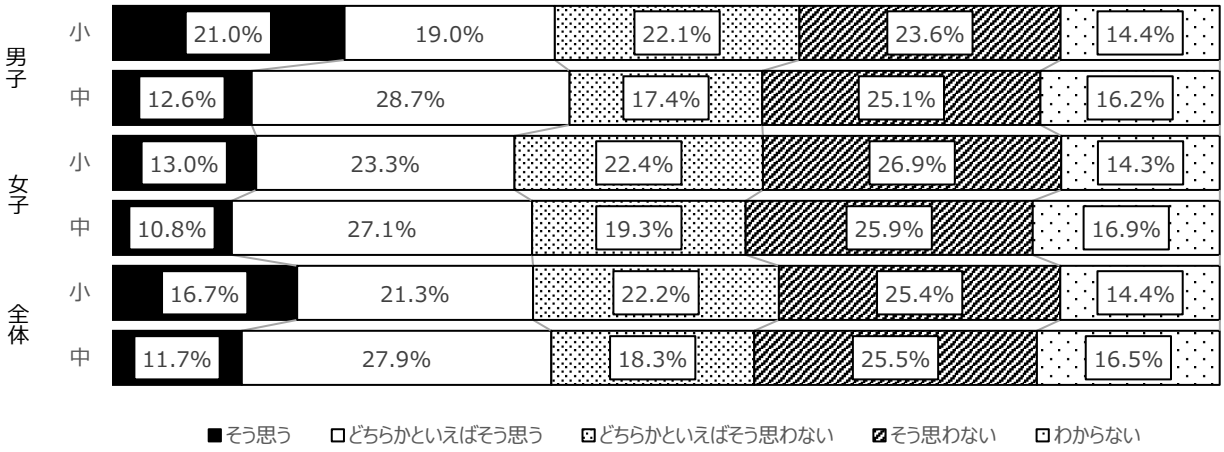
男女別で見ると、小学生男子の「思う」計が 2.7p 減り、中学生男子 0.6p 増え、小学生女子 3.4p 増え、中学生女子 5.4p 増えている。

小学生よりも中学生の方が男女ともに「思う」計が増加している。年齢が高くなるほどその傾向が強まっている。

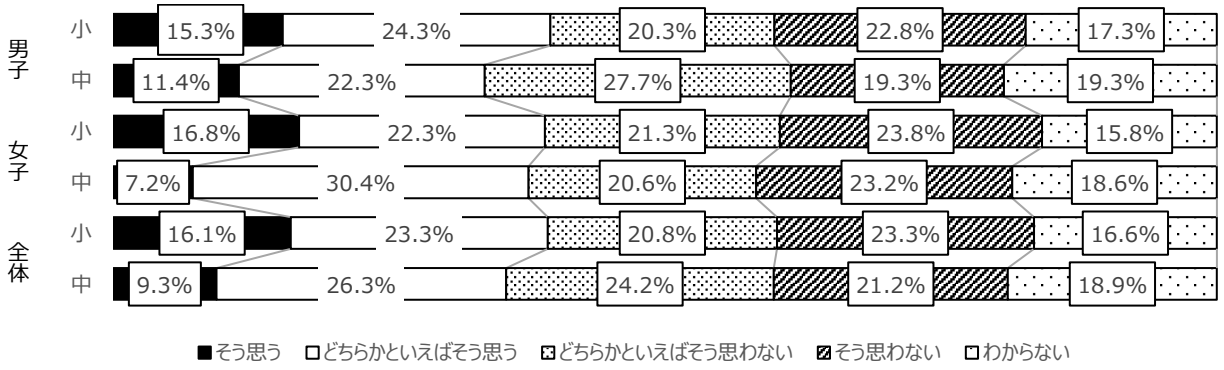
学校内だけでなく社会の中でもその傾向を感じるのかな。

（４）いろいろな場面で男子の方が期待されている

令和元年度



平成 28 年度



全体では、「思う」計が小学生で 38.0%、中学生では 39.6%と 1.6p 多くなっている。「思わない」計が小学生で 47.6%、中学生では 43.8%と 3.8p 少なくなっている。

男女別で見ると、「思う」計は小学生で男子 40.0%、女子 36.3%、中学生では男子 41.3%、女子 37.9%と中学生の方が男女共にわずかに多くなっている。

前回調査との比較では、全体として「思う」計は小学生で 1.4p 減り、中学生では 4.0p 増えている。

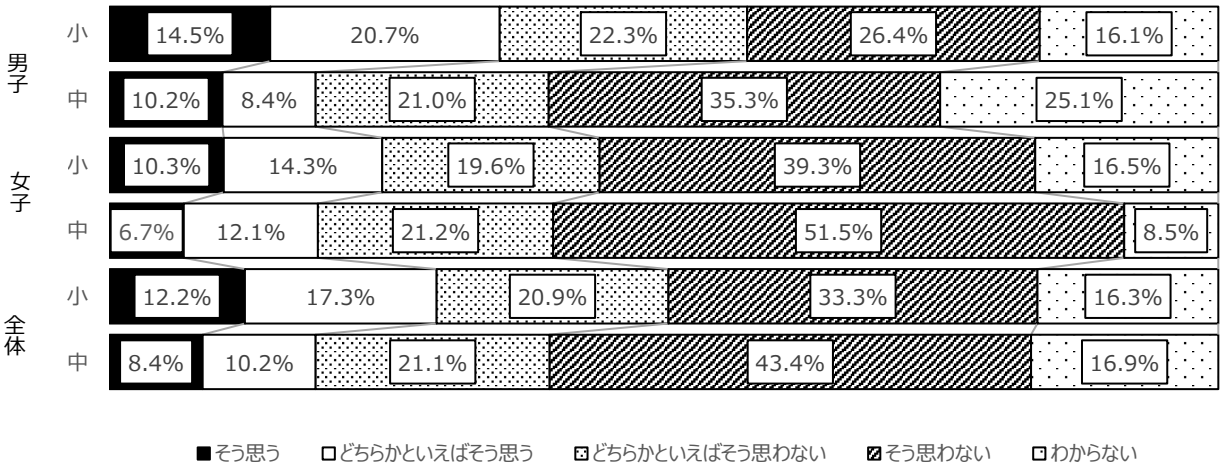
男女別で見ると、小学生男子 0.4p 増え、中学生男子 7.6p 増え、小学生女子 2.8p 減り、中学生女子 0.3p 増えている。

問 11 でも男子の方が仕事をして家族を守るとか親の家を継ぐという概念が残っていたが、女子よりも男子の方が周りから期待されているようなことを言われているのかもしれない。

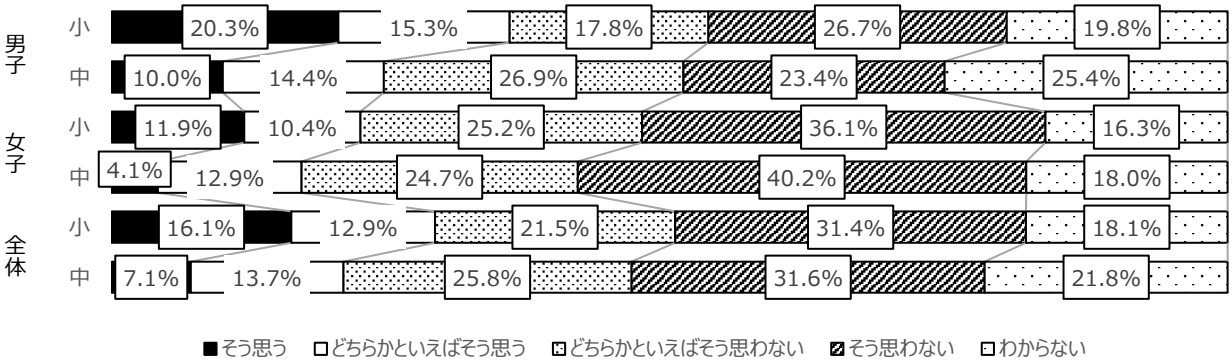
特に地元で３世代や４世代暮らしてきた家庭では、昔ながらの家制度を担う期待が残っており、日常的にそのような声かけ等があるのではないかな。

（５）学級代表や学校代表は男子に向いている

令和元年度



平成 28 年度



全体では、「思う」計が小学生で 29.5%、中学生では 18.6%と 10.9p 少なくなっている。「思わない」計が小学生で 54.2%、中学生では 64.5%と 10.3p 多くなっていて、約半数以上が思わないと回答している。

男女別で見ると、「思う」計が小学生で男子 35.2%、女子 24.6%と男子が 10.6p 多く、中学生では男子 18.6%、女子 18.8%と同じくらいである。「思わない」計では、小学生男子を除いて他は過半数を占めていて、中学生女子では 72.7%であった。

前回調査との比較では、全体として「思う」計が小学生で 0.5p 増え、中学生では 2.2p 減っている。

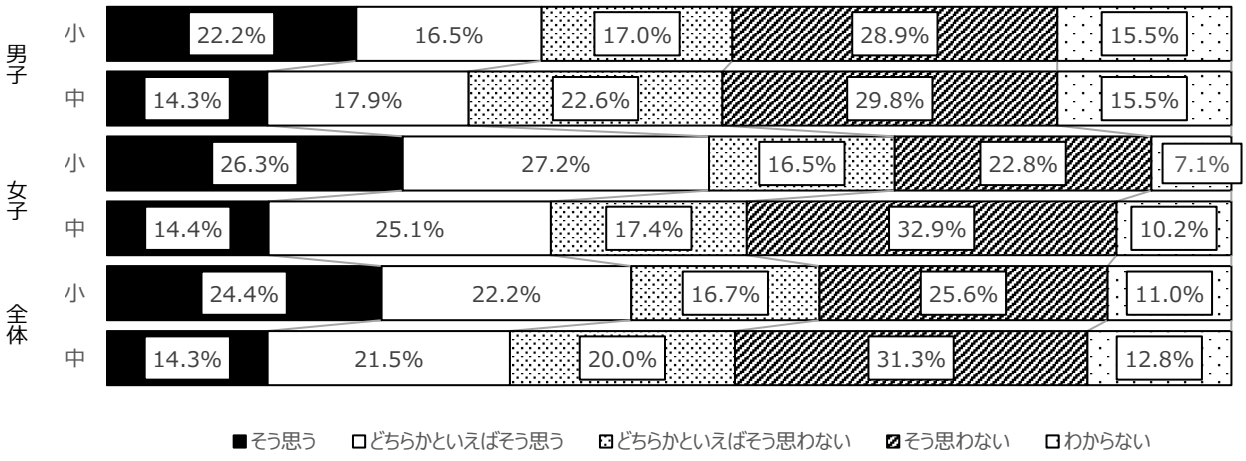
男女別でみると、小学生男子 0.4p 減り、中学生男子 5.8p 減り、小学生女子 2.3p 増え、中学生女子 1.8p 増えている。

今回も前回もどちらも全体的に男女とも代表は男子に向いているに対して「思わない」計が約半数以上あり、その傾向は中学生の方が顕著である。リーダー意識は男女差に左右されないように感じられた。

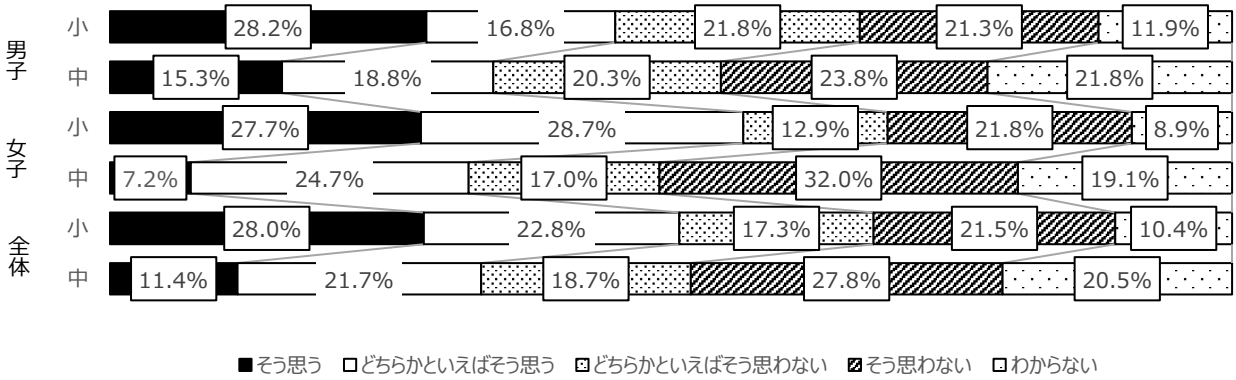
なんで議員さんは男の人ばかりなんだろう？

（６）教室のそうじや整理整とんは女子に向いている

令和元年度



平成 28 年度



全体では、「思う」計が小学生で 46.6%、中学生では 35.8%と 10.8p 少なくなっている。「思わない」計が小学生で 42.3%、中学生では 51.3%と 9.0p 多くなっている。

男女別で見ると、「思う」計が小学生で男子 38.7%、女子 53.5%と女子が半数を超えていた。中学生では男子 32.2%、女子 39.5%と 30%台である。

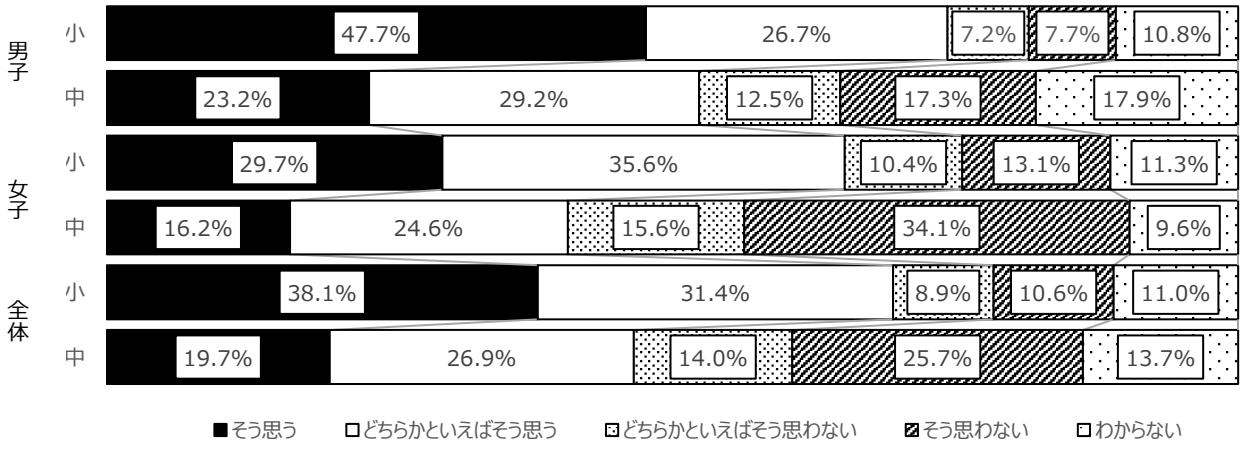
前回調査との比較では、全体として「思う」計が小学生で 4.2p 減り、中学生では 2.7p 増えている。

男女別で見ると、小学生男子 6.3p 減り、中学生男子 1.9p 減り、小学生女子 2.9p 減り、中学生女子 7.6p 増えている。

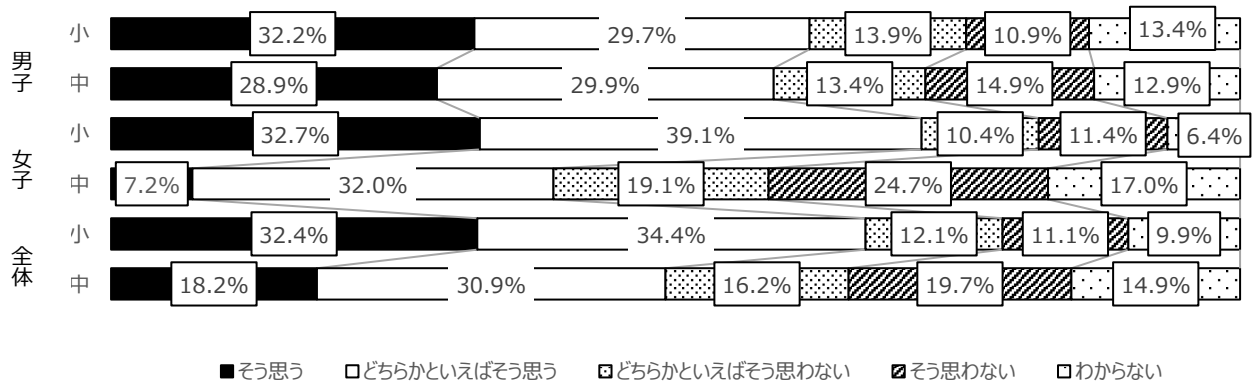
全体では、校内では男子も女子も掃除の時間に掃除をしているが、小学生と中学生共に女子の方が男子よりも向いていると答えている。

（７）女子は音楽が得意である

令和元年度



平成 28 年度



全体では、「思う」計が小学生で 69.5%、中学生では 46.6%と 22.9p 少なくなっている。

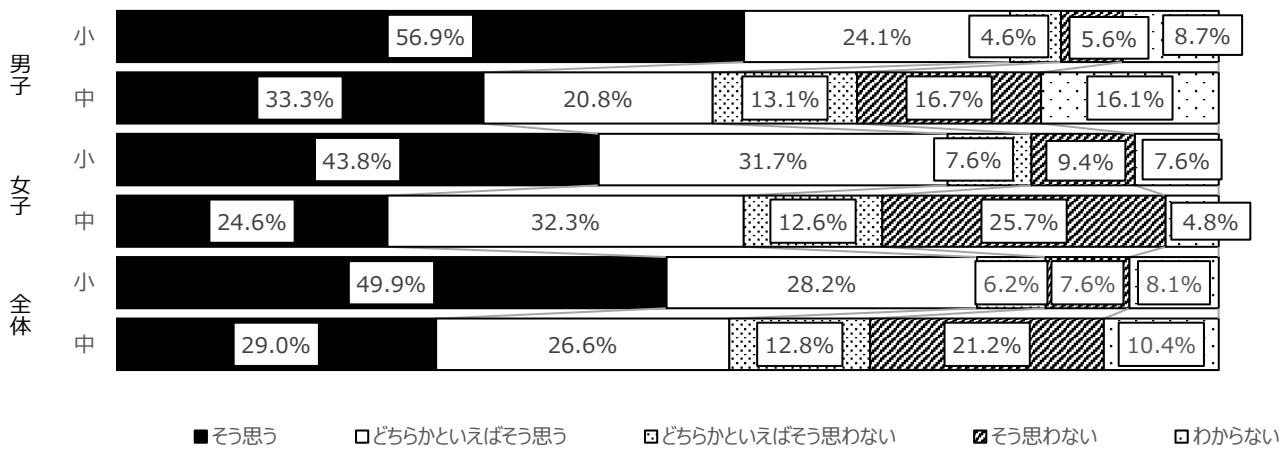
男女別で見ると、「思う」計が小学生で男子 74.4%、女子 65.3%とどちらも７割前後を占めている。中学生では「思う」計が男子 52.4%、女子 40.8%で男子は半数を超えているが、「思わない」計では男子 29.8%、女子 49.7%と女子はほぼ半数を占めている。

前回調査との比較では、全体として「思う」計が小学生で 2.7p 増え、中学生では 2.5p 減っている。

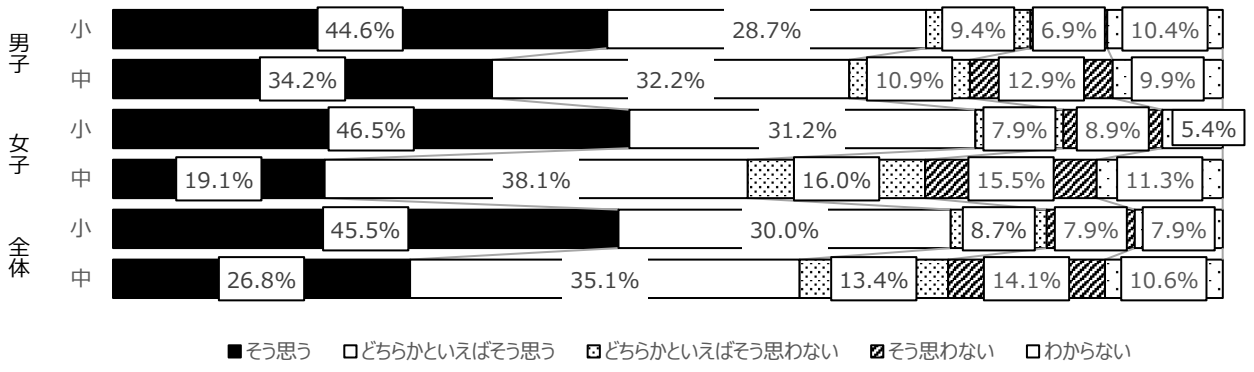
男女別で見ると、小学生男子 12.5p 増え、中学生男子 6.4p 減り、小学生女子 6.5p 減り、中学生女子 1.6p 増えている。

（８）男子は運動が得意である

令和元年度



平成 28 年度



全体では、「思う」計が小学生で 78.1%、中学生では 55.6%と 22.5p 少なくなっている。小学生では約８割を占めている。

男女別で見ると、「思う」計が小学生で男子 81.0%、女子 75.5%とどちらも８割前後を占めている。中学生では「思う」計が男子 54.1%、女子 56.9%とどちらも過半数を占めている。

前回調査との比較では、全体として「思う」計が小学生で 2.6p 増え、中学生では 6.3p 増えている。

男女別で見ると、小学生男子 7.7p 増え、中学生男子 12.3p 減り、小学生女子 2.2p 減り、中学生女子 0.3p 減っている。

学校外の活動で女子では芸術関係が、男子ではスポーツが多い。（資料参照）

男子よりも音楽に触れる機会が多く、そのせいで得意に見えるのかな。中学生になると男女に関わらず得意、不得意があるのがわかってくるみたい。

資料　ベネッセ教育総合研究所「学校外教育活動に関する調査 2017」より抜粋

図3－1 スポーツ活動の活動率

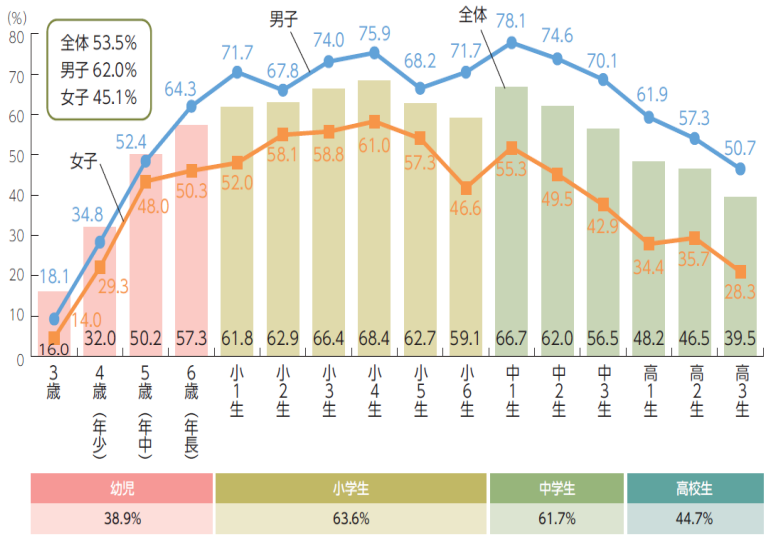
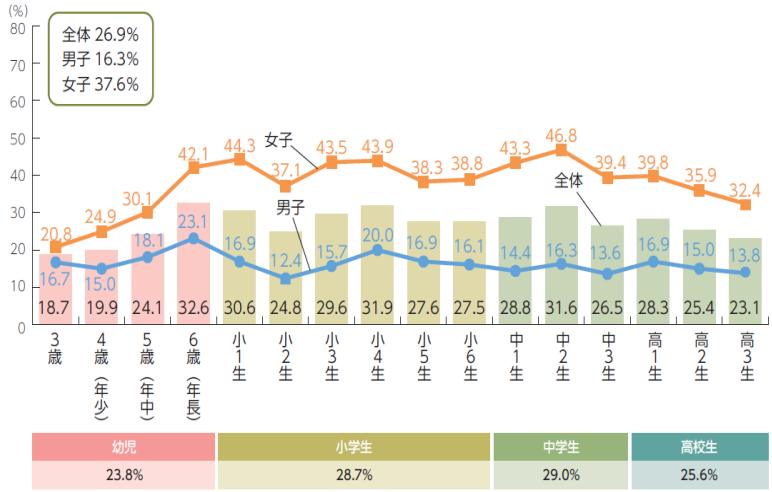


図3－2 芸術活動の活動率

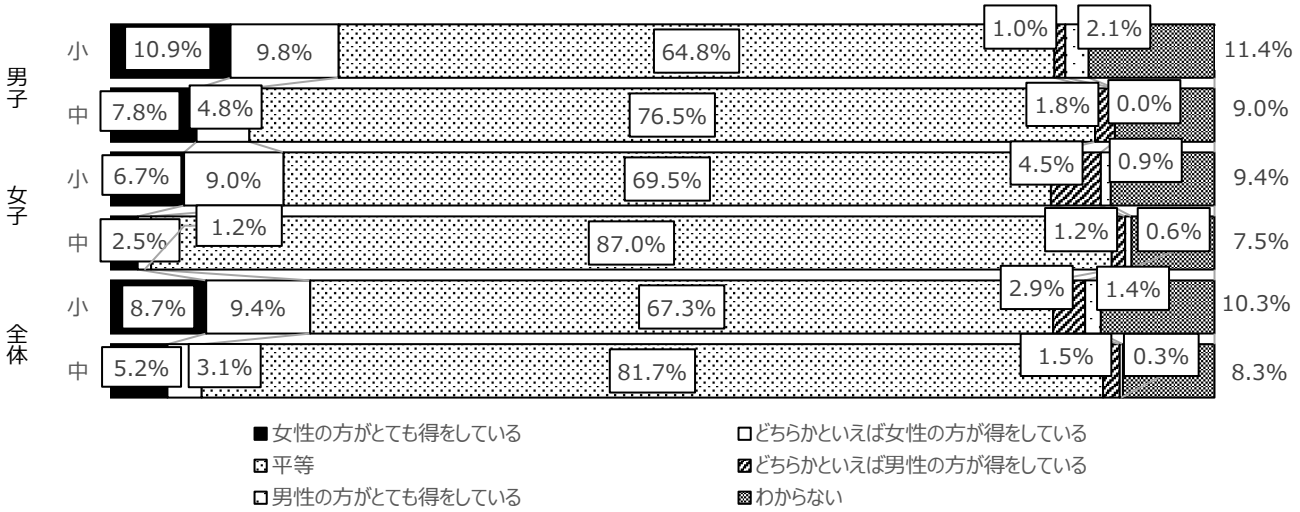


＜８　学校における平等感＞

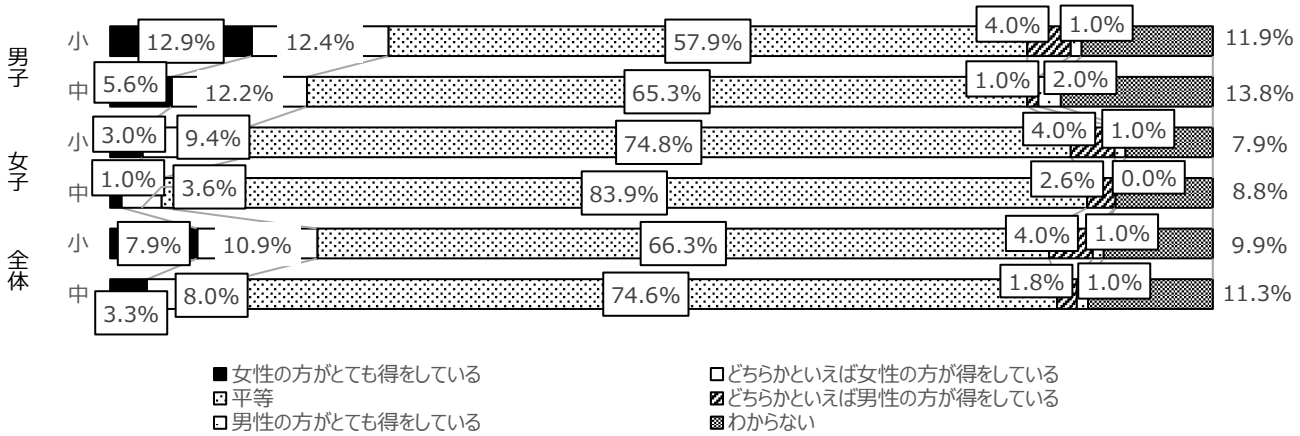
問 14　次の（１）～（３）についてどう思いますか。あてはまる番号を１つ選んで○をつけてください。

（1）学校の係や役員を決めるとき

令和元年度



平成 28 年度



全体では、「女性の方がとても得をしている」と「どちらかと言えば女性の方が得をしている」を合わせた「女性が得」計〈以下同じ〉が小学生で 18.1%、中学生では 8.3%と 9.8p 少なくなっている。「男性の方がとても得をしている」と「どちらかと言えば男性の方が得をしている」を合わせた「男性が得」計〈以下同じ〉が小学生で 4.3%、中学生では 1.8%と 2.5p 少なくなっている。「平等」が小学生 67.3%、中学生 81.7%と６～８割を占めている。

男女別で見ると、男子よりも女子の方が「平等」の割合が高い。平等感は中学生女子が一番強く 87.0%で、小学生男子が一番弱く 64.8%である。「男性が得」計が最も少ないのは、1.8%で中学生の男子と女子だった。

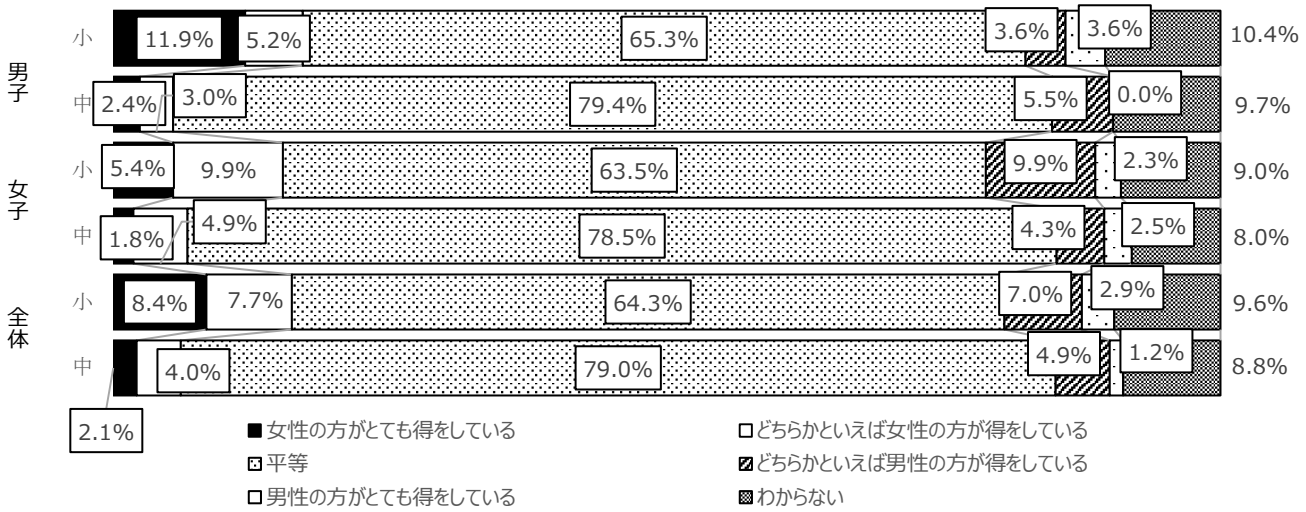
前回調査との比較では、全体として小学生よりも中学生の方が「平等」の割合が大きく、小学生で 1.0p、中学生で 7.1p 増えている。

男女別で見ると「平等」が小学生男子 6.9p 増え、中学生男子 11.2p 増え、小学生女子 5.3p 減り、中学生女子 3.1p 増えている。

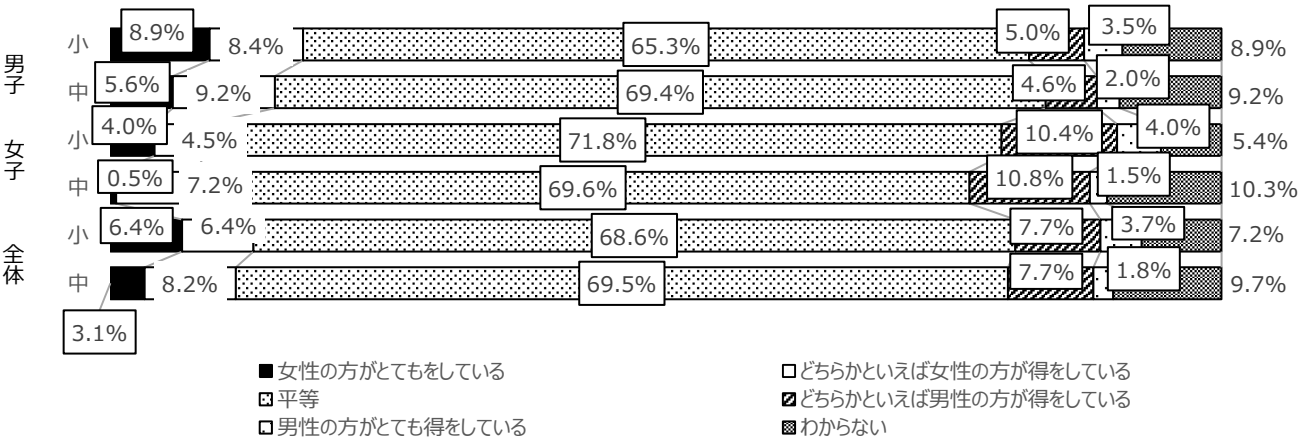
すべての係や役員を立候補制で決めれば平等だよね。

（２）そうじや給食の配膳などの仕事をするとき

令和元年度



平成 28 年度



全体では、「女性が得」計が小学生で 16.1%、中学生では 6.1%と 10.0p 少なくなっている。「男性が得」計が小学生で 9.9%、中学生では 6.1%と 3.8 p 少なくなっている。「平等」が小学生 64.3%、中学生 79.0%と小学生の方が少なくなっている。

男女別で見ると、女子よりも男子の方が「平等」の割合がわずかに多いが、最も平等感が強いのが中学生男子の 79.4%で、最も平等感が弱いのが小学生女子の 63.5%である。

前回調査との比較では、全体として「平等」の割合は小学生で 4.3p 減り、中学生では 9.5p 増えている。

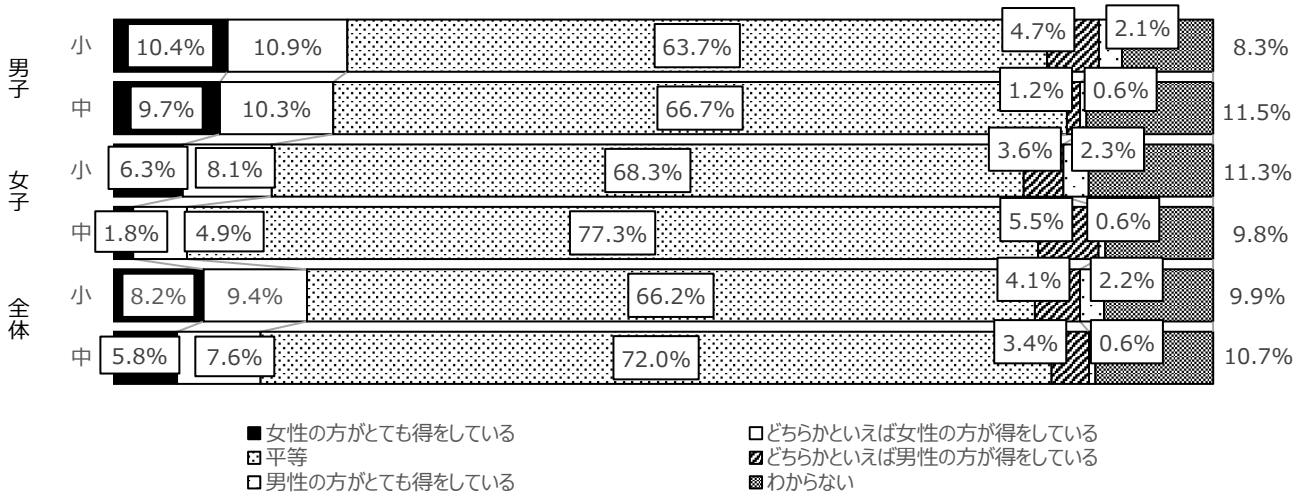
男女別で見ると、小学生男子は前回と同じ、中学生男子 10.0p 増え、小学生女子 8.3p 減り、中学生女子 8.9p 増えている。

小学生より中学生の方が平等感は強く、女子よりも男子の方が平等感は強い。男子と女子の平等感は前設問である問 14（1）と逆の結果であった。

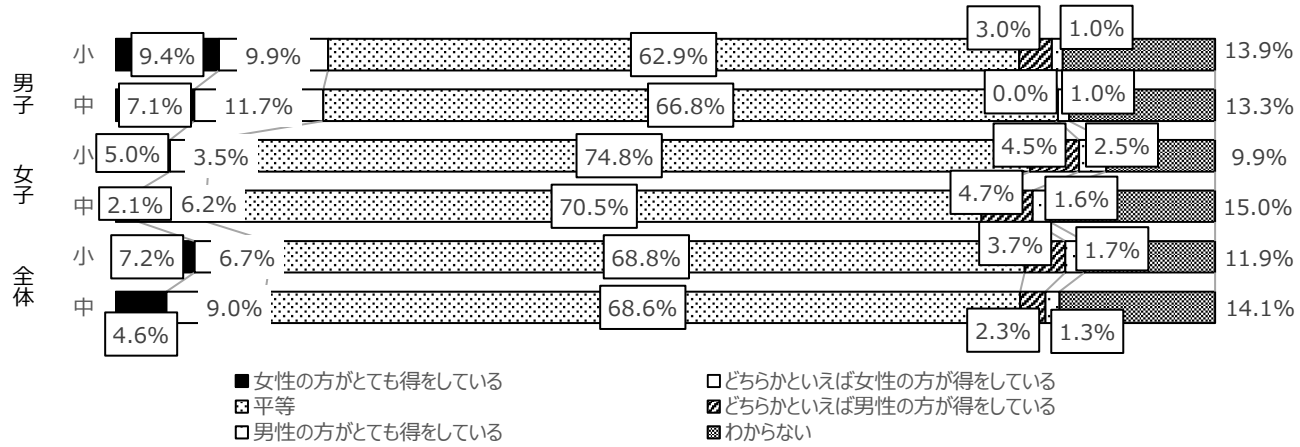
そうじや給食の配膳は当番制で、平等に行われているからだね。

（３）授業のとき

令和元年度



平成 28 年度



全体では、「女性が得」計が小学生で 17.6%、中学生では 13.4%と 4.2p 少なくなっている。どちらも「男性が得」計より約３倍多い。「平等」が小学生で 66.2%、中学生では 72.0%と約７割を占めている。

男女別で見ると、小中共に平等感は女子の方が強く、最も平等感が高いのが中学生女子の 77.3%で、最も平等感が低いのが小学生男子の 63.7%である。

前回調査との比較では、全体として「平等」の割合は小学生で 2.6p 減り、中学生では 3.4p 増えている。

男女別で見ると、小学生男子 0.8p 増え、中学生男子 0.1p 減り、小学生女子 6.5p 減り、中学生女子 6.8p 増えている。

小学生より中学生の方が平等感は強く、男子よりも女子の方が平等感は強い。前の２つの設問に比べると、小中学生の男女別で平等と回答した割合が少なかった。「授業のとき」の平等感が低いのは、教科による得意、不得意が影響されているのではないかと推測される。

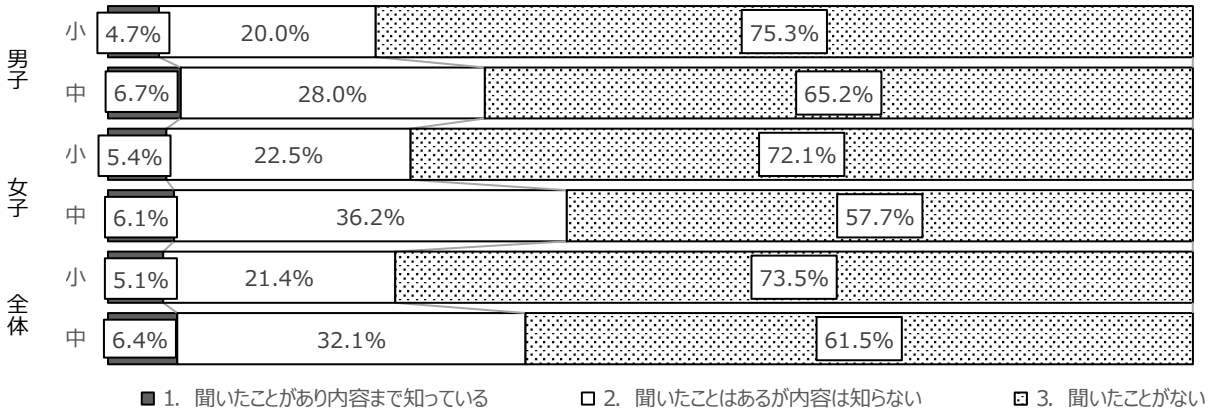
先生の教え方にも男女の違いがあるのかな。

＜９　男女共同参画社会に関する言葉の周知度＞

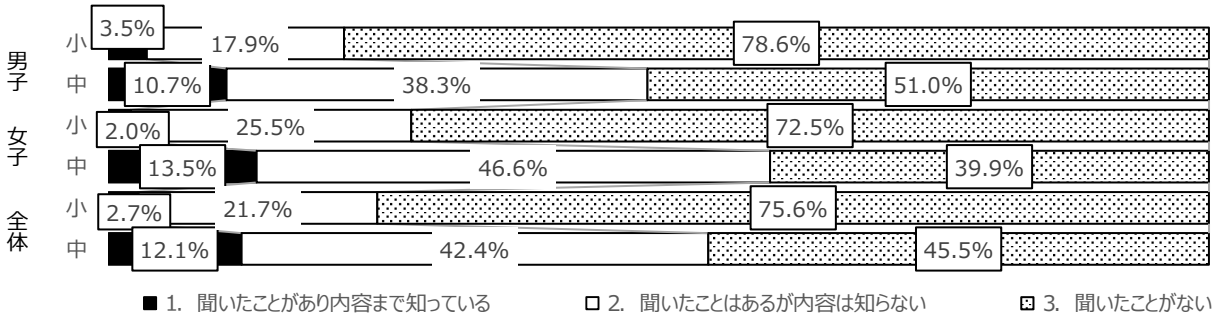
問 15　あなたは次の言葉を聞いたことがありますか。（１）～（２）についてあてはまる番号を１つだけ選んで○をつけてください。

（1）男女共同参画社会

令和元年度



平成28年度



全体では、「聞いたことがあり内容まで知っている」と「聞いたことはあるが内容までは知らない」を合わせた「聞いたことがある」計〈以下同じ〉が小学生で 26.5%、中学生では 38.5%と 12.0p 多くなっている。

男女別で見ると、小学生で男子 24.7%、女子 27.9%と女子の方が 3.2p 多く、中学生では男子 34.7%女子 42.3%と女子の方が 7.6p 多くなっている。小学生より中学生の方が多く、男子より女子の方が多くなっている。

前回調査との比較では、全体として「聞いたことがある」計が小学生で 2.1p 減り、中学生では 16.0p 減っている。

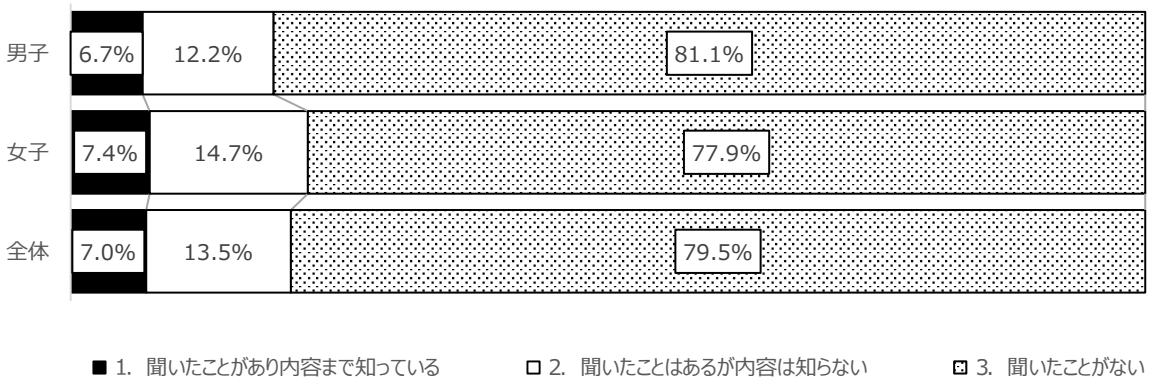
男女別で見ると、小学生男子 3.3p 増え、中学生男子 14.3p 減り、小学生女子 0.4p 増え、中学生女子 17.8p 減っている。

前回に比べ、小学生の男女共にわずかに増えているが、中学生は男女共に減っている。「内容まで知っている」の割合は 4.7%～6.7%と１桁台であった。男女平等は知っていても男女共同参画社会の周知度は低いことが伺える。

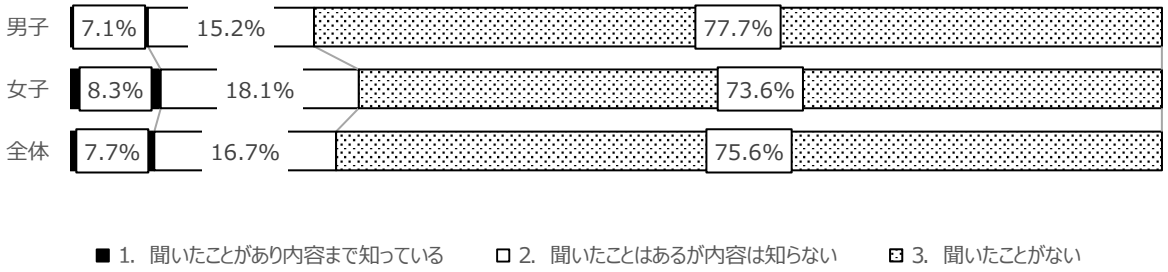
学校の授業では男女共同参画社会について学ぶことはないのかな。

（２）デートDV（中学生のみ）

令和元年度



平成28年度



全体では「聞いたことがある」計は 20.5%、男女別で見ると男子 18.9%、女子 22.1%と女子の方が 3.2p 多くなっている。

前回調査との比較では、全体として「聞いたことがある」計が 3.9p 減っている。

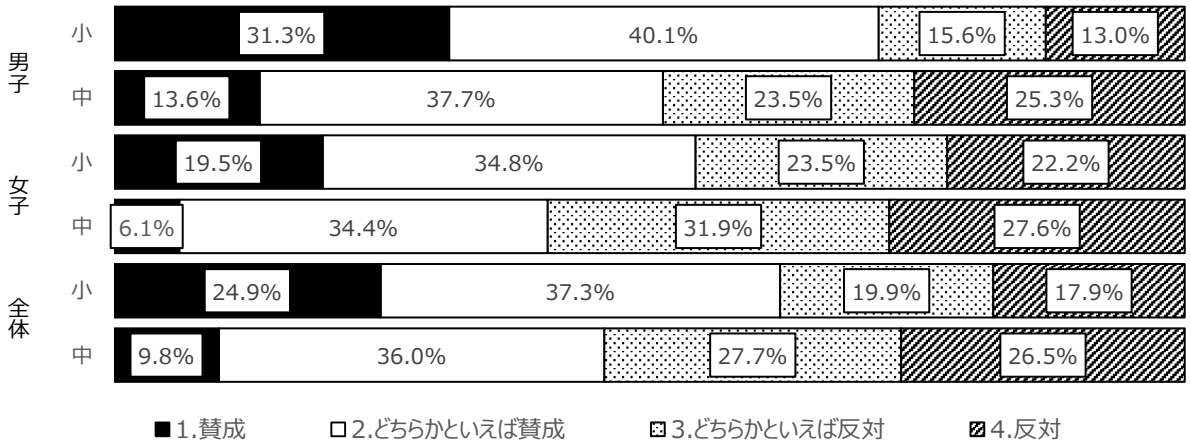
男女別で見ると、中学生男子 3.4p 減り、中学生女子 4.3p 減っている。

全体的に周知度が低く、前回よりもさらに減少している。確かにテレビ等でも「デート DV」についてあまり報道されないので言葉自体聞いたことがないのかもしれない。「デート DV」という言葉は知らなくても、他人に対しての暴力は絶対にしてはいけないことだとわかってもらいたい。

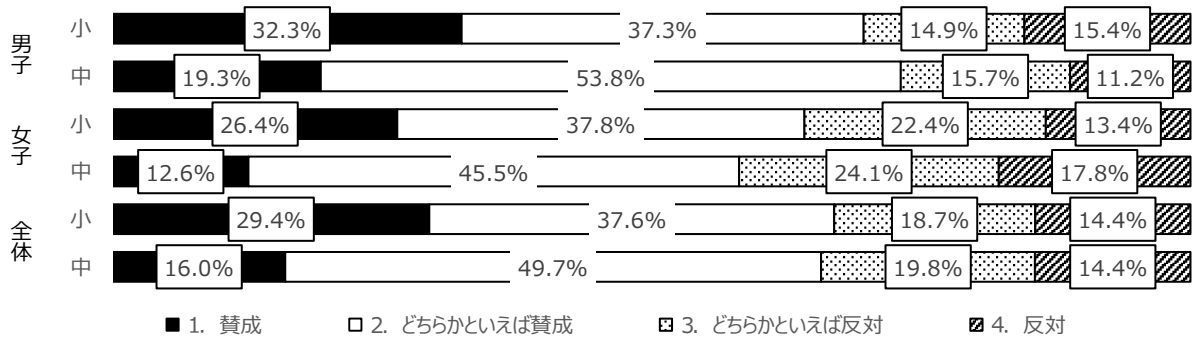
<10 性別役割分担意識>

問 16 「男は外に出て仕事をし、女は家庭を守り子育てをする」という考え方を、あなたはどう思いますか。あてはまる番号を１つ選んで○をつけてください。

令和元年度



平成 28 年度



全体では、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた「賛成」計〈以下同じ〉が小学生で 62.2%、中学生では 45.8%と 16.4p 少なくなっている。

男女別で見ると「賛成」計が小学生で男子 71.4%、女子 54.3%と男子の方が 17.1p 多くなっている。中学生では男子 51.3%、女子 40.5%と男子の方が 10.8p 多くなっている。

前回調査との比較では、全体として「賛成」計が小学生で 4.8p 減り、中学生では 19.9p 減っている。

男女別で見ると、小学生男子 1.8p 増え、中学生男子 21.8p 減り、小学生女子 9.9p 減り、中学生女子 17.6p 減っている。

前回調査からの３年間で小学生男子の意識の変化はあまり見られない。小学生女子、中学生の男女は、「賛成」計が減り、大きな意識の変化が見られる。社会的にも男が外に出て仕事をする、女は家庭を守り子育てをするという役割分担意識が薄れてきている結果ではないかと思われる。

<11 意見・要望>

〈最後に〉男子・女子といった性別に関係なく、一人ひとりの個性や能力を活かして、いろいろなことをみんなで協力し合っていく「男女共同参画社会」を実現するためにはどうしたらいいと思いますか。あなたのご意見・ご要望をご自由にご記入ください。

小学生男子 143 人・小学生女子 172 人 計 315 人　　意見総計 557 件

中学生男子 104 人・中学生女子 115 人 計 219 人　　※1 人で複数意見あり

	小学生男子	小学生女子	中学生男子	中学生女子	計
1 協力し合う、助け合う	51 人	69 人	11 人	22 人	153 人
2 平等にする、差別をなくす	28	38	31	32	129
3 仲良くする	23	19	2	2	46
4 尊重する、認める	6	6	7	10	29
5 個性や能力を生かす	9	13	12	11	45
6 広報・教育、講習会実施	4	9	6	3	22
7 昔の考えにしばられない	3	3	11	15	32
8 女性の働く場をつくる	1	1	1	0	3
9 男も女も働く	4	1	4	0	9
10 社会・会社への要望	7	4	3	13	27
11 その他の意見	6	4	3	5	18
12 否定的意見	3	0	2	0	5
13 わからない、知らない	5	14	5	2	26
14 その他	1	1	7	4	13
計	151	182	105	119	557

■小学生男子の意見・要望（抜粋）

○一人ひとりちがう特技、しゅみをもっているので性別だけで判断せず、特技をいかしたことをすればいいと思う。

○別に男子が外に出て働いて、女子が子育てをするのはどちらでもよいし、その家庭でどちらがむいているとか、好きなほうをやったらよいと思う。

○男子はこれが出来ないから、女子はできないからと考えるのではなく、みんな一緒だと思い、出来ないことを決めつけるのではなくチャレンジしてみればいいと思います。

○男女差別などがある今、男女共同はうれしいです。がんばってください。

○男子・女子関係なく思いやりの力を持って一緒に作業する。

■小学生女子の意見・要望（抜粋）

○一人ひとりがみんなと協力し、一人ひとりの個性を最大限に生かし助け合えばいいと思う。

○女性がもっと気楽に働ける（乳児などを気にかけられる）ために働き方改革を進めてほしい。

○性別に関係なく、一人ひとり個性や能力を活かしてみんなで協力し合っていくといい、ということを広めればいいと思います。

○差別的なことをなくすよう自分で心がける。

○男と女が平等に過ごせる世界を作ってほしい。そして、男女が共に笑い合える未来を作ってほしい。

■中学生男子の意見・要望（抜粋）

○昔の考え（男は仕事をして、女は子育てをする）をみんなが捨てて、男女平等を意識してお互いの長所を活かせる社会を創り上げることができれば「男女共同参画社会」は実現できると思います。

○男女の差別や決めつけをなくすことが重要で、この考え方をさまざまな方法で伝えていくことが大切だと思う。

○「男（女）だからこれをやれ」「女（男）だからこれはやるな」「男（女）だからこれくらいがまんしろ」などという男と女を分けるような考え方はやめたほうが良いと思う。

○どうしようもないかと思う多分、無理せず、一人一人の個性や能力を活かしていって、まず無個性の人はどうするのですか。世の中にはそんな人がいっぱい居るんですよ よく考えてください。

○男女が充実していきられるような社会をつくる。ブラック企業をなくす。

■中学生女子の意見・要望（抜粋）

○1 人 1 人「したいこと」には理由があるから、男だから、女だからで決めつけずにお互いに認め合っていく必要がある。昔からの考えが今の時代に正しいとは限らないから、昔から常識的な考えで人を全否定するのはやめる。

○それぞれ得意不得意があると思うので、それを理解し性別関係なく協力する。

○「男・女どちらかに○をつけなさい」という表記をやめる。家事・育児・仕事も男女問わず協力し合って行う社会をつくる。

○「男子だから」や「女子だから」というふうに、男子や女子で分けたり、比べたりするのではなくある人のことを性別じゃなく、一人の人としてみたり、考えたりしたほうがいいと思う。男子がむいている女子がむいているではなく、誰でも一生懸命がんばればむいていると考える。

○LGBTQ はどうすればいいの？男女平等なんかより LGBTQ の差別無くした方がいいと思うんですが…。

用語解説

「LGBTQ」とは、レズビアン（女性の同性愛者）、ゲイ（男性の同性愛者）、バイセクシュアル（男性・女性の両性愛者）、トランスジェンダー（生まれた性と異なる性で生きる人）、クエスチョニング（性自認や性的指向を定めない人）の各単語の頭文字を組み合わせた表現。

「Ｑ」は性的少数者の総称を表す「クィア」とう意味でも使われている。

※詳細は「Ⅲ資料」 p 68 から～ p 78 を参照